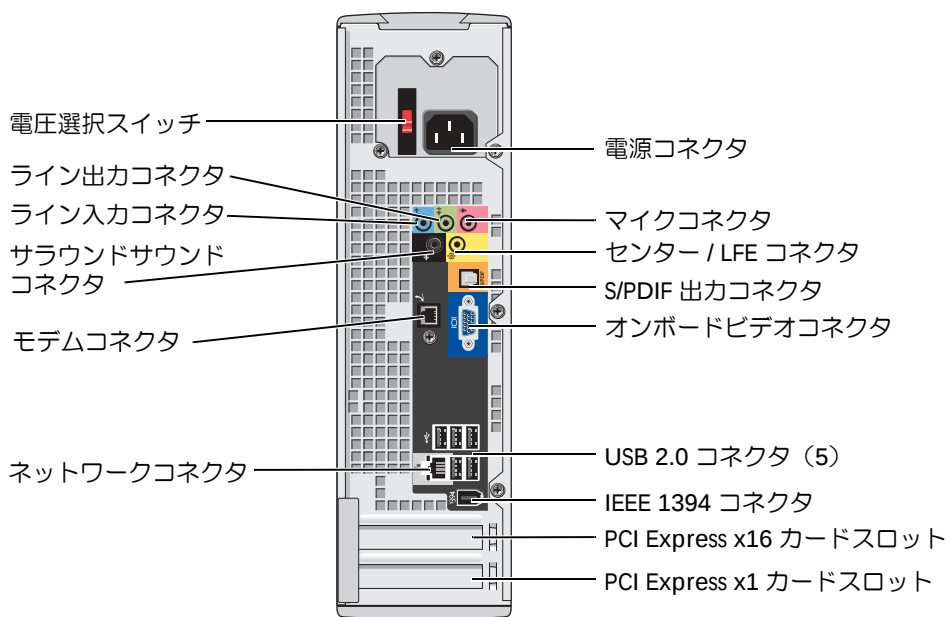
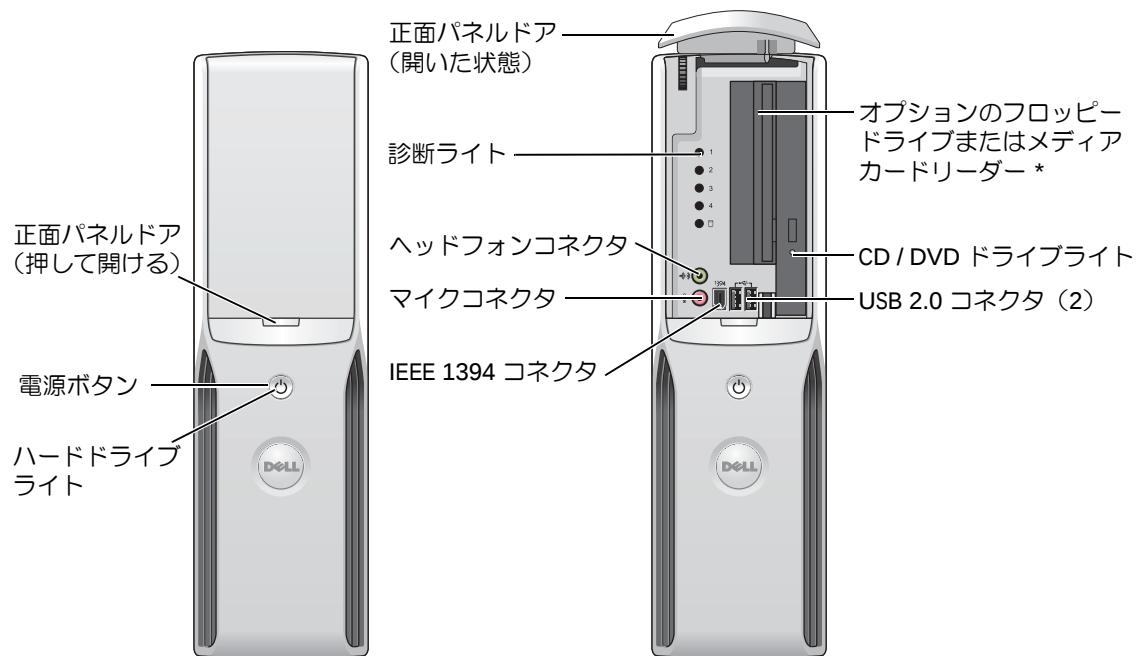


Dell™ Dimension™ 5100C



Model DHP

* 機種によってはない場合があります。

メモ、注意、および警告



メモ：操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。



注意：ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入された場合、このマニュアル内の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに関する記述は適用されません。

この文書に含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。

© 2005 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. の書面による許可なく、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

本書に使われている商標：Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp、DellNet、PowerConnect はすべて Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、Celeron は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、Outlook は Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では、商標および商標名を主張する会社またはその製品を参照するのに、これ以外の商標および商標名が使用される場合があります。Dell Inc. では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

Model DHP

2005 年 3 月

P/N N8937 Rev. A00

目次

情報の検索	9
-------	---

1 コンピュータのセットアップと使用

プリンタのセットアップ	13
プリンタケーブル	13
USB プリンタの接続	14
メディアカードリーダーの使用（オプション）	15
TV の接続（オプション）	16
画面設定の変更	16
家庭用および企業用	17
ネットワークアダプタへの接続	17
ネットワークセットアップウィザード	18
インターネットへの接続	18
インターネット接続のセットアップ	19
CD または DVD の再生	20
音量の調節	22
画面の調整	22
CD および DVD のコピー	22
CD または DVD のコピー方法	23
空の CD-R、CD-RW、DVD+R および DVD+RW の使用	24
役に立つヒント	24
Power Management（電力の管理）	25
スタンバイモード	25
休止状態モード	25
電源オプションのプロパティ	26
ハイパースレッディング	28

2 問題の解決

トラブルシューティングのヒント	29
バッテリーの問題	29
ドライブの問題	30
CD および DVD ドライブの問題	30
ハードドライブの問題	31
電子メール、モデム、およびインターネットの問題	31
エラーメッセージ	33
メディアカードリーダーの問題	34
IEEE 1394 デバイスの問題	34
キーボードの問題	35
コンピュータのロックアップおよびソフトウェアの問題	35
コンピュータが起動しない場合	35
コンピュータの反応が停止した場合	36
プログラムの反応が停止した場合	36
プログラムが繰り返し壊れる場合	36
プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーティング システム用に設計されている場合	36
画面が青一色になった場合	37
その他のソフトウェアの問題	37
メモリの問題	38
マウスの問題	38
ネットワークの問題	39
電源の問題	40
プリンタの問題	41
スキャナーの問題	42
サウンドとスピーカーの問題	43
スピーカーから音がしない場合	43
ヘッドフォンから音がしない場合	44
ビデオとモニタの問題	44
画面に何も表示されない場合	44
画面が見つからない場合	45

3 **トラブルシューティングツール**

診断ライト	47
Dell Diagnostics（診断）プログラム	51
Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合	51
Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu（メインメニュー）	51
ドライバ	53
ドライバとは？	53
ドライバの再インストール	53
ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決	55
オペレーティングシステムの復元	55
Microsoft Windows XP システムの復元の使い方	55

4 **部品の取り外しと取り付け**

再インストールする前に	59
推奨ツール	59
コンピュータの電源を切る	59
コンピュータ内部の作業を始める前に	60
コンピュータの正面および背面	61
正面	61
コンピュータの背面	63
コンピュータカバーの取り外し	65
コンピュータの内部	67
システム基板のコンポーネント	68
メモリ	69
DDR2 メモリの概要	69
4 GB 構成でのメモリアドレッシング	70
メモリの取り付け	71
メモリの取り外し	72
カード	73
PCI Express カード	73

ドライブ	78
ドライブケーブルの接続	78
ドライブインタフェースコネクタ	79
電源ケーブルコネクタ	79
ドライブケーブルの接続と取り外し	80
ハードドライブ	80
ハードドライブの取り外し	80
ハードドライブの取り付け	82
CD/DVD ドライブ	85
CD/DVD ドライブの取り外し	85
CD/DVD ドライブの取り付け	87
メディアカードリーダー	89
メディアカードリーダーの取り外し	89
メディアカードリーダーの取り付け	90
フロッピードライブ (オプション)	92
フロッピードライブの取り外し	92
フロッピードライブの取り付け	95
Modem (モデム)	97
外部モデムコネクタの交換	98
バッテリー	99
バッテリーの交換	100
コンピュータカバーの取り付け	101

5 補足事項

仕様	103
セットアップユーティリティ	107
概要	107
セットアップユーティリティの起動	108
セットアップオプション	109
Boot Sequence (起動順序)	112
忘れたパスワードの取り消し	114
CMOS 設定の取り消し	115

コンピュータのクリーニング	116
コンピュータ、キーボード、およびモニタ	116
マウス	116
CD および DVD	117
デルテクニカルサポートポリシー（米国内のみ）	117
「Dell 製品にインストールされている」ソフトウェアと 周辺機器の定義	118
「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義	118
FCC に関する注意事項（米国内のみ）	118
クラス A	119
クラス B	119
FCC ID 情報	119
デルへのお問い合わせ	120
 索引	 121

情報の検索

メモ：一部の機能は、国または使用されるコンピュータによっては、ご利用になれない場合があります。

メモ：追加情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探ですか？

- 保証に関する情報
- 契約条項（米国内のみ）
- 安全にお使いいただくために
- 認可機関の情報
- 快適な使い方
- エンドユーザーライセンス契約

こちらをご覧ください

Dell™『製品情報ガイド』



-
- コンピュータのセットアップ方法

セットアップ図



何をお探ですか？

- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

こちらをご覧ください

サービスタグと Microsoft Windows ライセンスラベルはコンピュータに貼られています。

- **support.dell.com** を使用するか、テクニカルサポートに連絡する場合は、サービスタグでコンピュータを識別します。



- テクニカルサポートに連絡したときにエクスプレスサービスコードを入力すると、通話が直接接続されます。

- 技術情報 — Q & A 検索、トラブル解消ナビ、Diagnostics（診断）プログラム、インストールガイド、お問い合わせの多い質問
- アップグレード — メモリ、ハードドライブ、オペレーティングシステムなどのコンポーネントのアップグレード情報
- 各種サービスのご案内 — サービスプラン、登録内容変更申込、リサイクル・買取サービス、引き取り修理状況確認など
- サービスおよびサポート — サービスコールの状況とサービス履歴、サービス契約、テクニカルサポートとのオンラインディスカッション
- 参照資料 — マニュアル、コンピュータの設定に関する詳細情報、製品仕様、ホワイトペーパーなど
- ダウンロード — 認定ドライバ、パッチ、ソフトウェアのアップデート
- デスクトップシステムソフトウェア（DSS） — コンピュータにオペレーティングシステムを再インストールする場合、DSS ユーティリティも再インストールする必要があります。DSS は、オペレーティングシステムの重要なアップデート、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® Pentium® M プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスに関するサポートを提供します。DSS は、Dell コンピュータが正しく動作するために必要です。このソフトウェアは、お使いのコンピュータとオペレーティングシステムを自動的に判別し、構成に合わせて適切なアップデート分をインストールします。

デルサポートウェブサイト — **support.dell.com**

メモ： お住まいの地域を選択し、お近くのサポートサイトを表示します。

- 企業、政府および教育関係のユーザーには、カスタマイズされた Dell Premier サポートウェブサイト **premier.support.dell.com** もご利用いただけます。このサイトは一部の地域ではご利用できない場合があります。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• Windows XP の使い方 • コンピュータのマニュアル • モデムなどのデバイスのマニュアル	Windows ヘルプとサポートセンター 1 スタート ボタンをクリックして、ヘルプとサポートをクリックします。 2 問題に関連する用語やフレーズを 検索 ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3 問題に関連するトピックをクリックします。 4 画面の指示に従います。

コンピュータのセットアップと使用

プリンタのセットアップ



注意：プリンタをコンピュータに接続する前に、オペレーティングシステムのセットアップを完了させてください。

以下の操作を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- 最新ドライバの入手およびインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 用紙のロードおよびトナーやインクカートリッジのインストール
- プリンタ製造元のテクニカルサポートへの問い合わせ

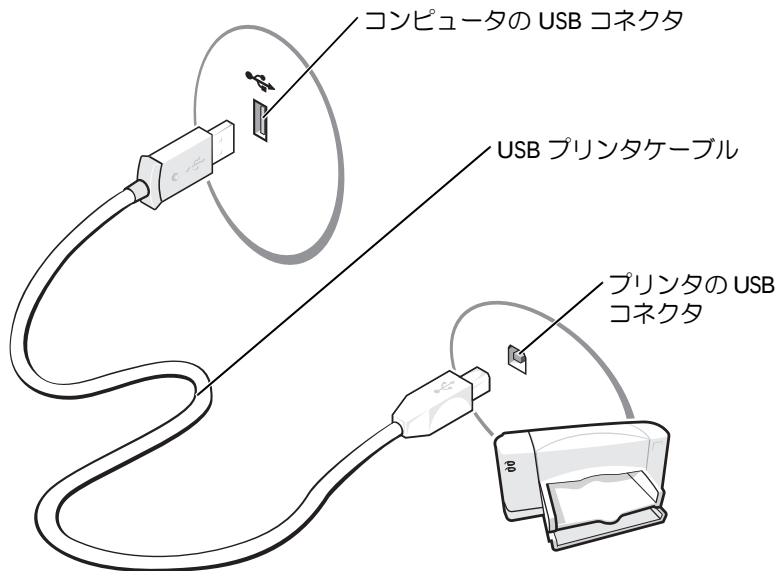
プリンタケーブル

お使いのプリンタは、USB ケーブルでコンピュータに接続します。プリンタにプリンタケーブルが付いていない場合があります。ケーブルを別に購入する場合は、プリンタに対応するものであることを確認してください。プリンタケーブルをコンピュータと一緒に購入した場合、ケーブルはコンピュータの箱に入っていることがあります。

USB プリンタの接続

 **メモ：** コンピュータに電源が入っているときに USB デバイスを接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムのセットアップを完了させていない場合は、セットアップを完了させます。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに取り付けます。USB コネクタは一方方向にしかはめ込むことができません。



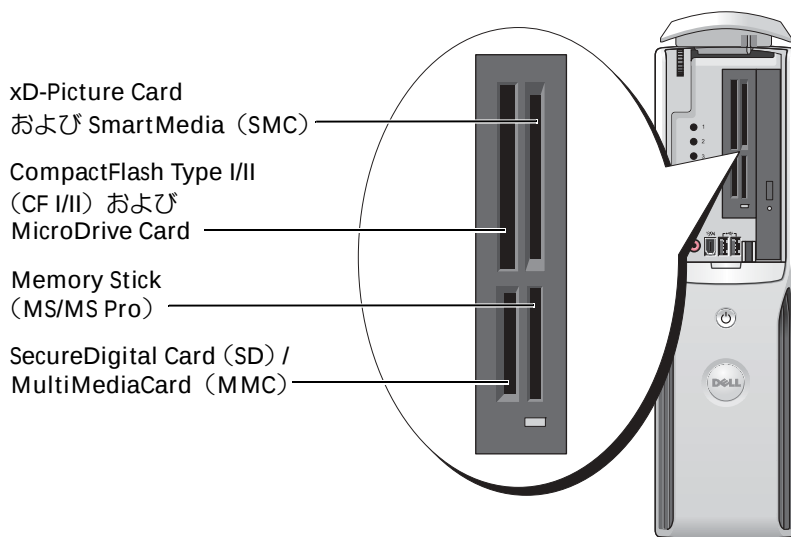
メディアカードリーダーの使用（オプション）

メディアカードリーダーを使用してコンピュータに直接データを転送します。

メディアカードリーダーは以下の種類のメモリに対応しています。

- xD-Picture Card
- SmartMedia (SMC)
- CompactFlash Type I/II (CF I/II)
- MicroDrive Card
- SecureDigital Card (SD)
- MultiMediaCard (MMC)
- Memory Stick (MS/MS Pro)

メディアカードリーダーの取り付けについては、90 ページの「メディアカードリーダーの取り付け」を参照してください。



メディアカードリーダーを使用するには、次の手順を実行します。

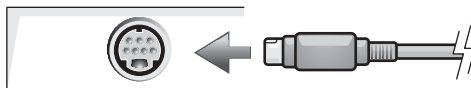
- 1 メディアやカードをチェックして、正しい挿入方向を確認します。
- 2 メディアやカードを正しいスロットにスライドして、完全にコネクタに差し込みます。

スムーズに差し込むことができない場合は、メディアやカードを無理に差し込まずに、カードの向きを確認してやり直してください。

TV の接続（オプション）

 **メモ：** TV をコンピュータへ接続するには、TV 出力機能のあるビデオカードが必要です。また、S ビデオケーブルを購入する必要があります。S ビデオケーブルは、ほとんどの電気店で入手できます。S ビデオケーブルはコンピュータには付属していません。

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 S ビデオケーブルの一方の端を、コンピュータの背面にある TV 出力コネクタに接続します。
- 3 S ビデオケーブルのもう一方の端を、TV の S ビデオ入力コネクタに接続します。



画面設定の変更

- 1 TV を接続したら、コンピュータの電源を入れます。
Microsoft® Windows® のデスクトップがモニタに表示されます。
- 2 画面設定でクローンモードまたは拡張デスクトップモードを有効にします。
 - クローンモードでは、モニタと TV が同じ画像を表示します。
 - 拡張デスクトップモードでは、オブジェクトを 1 つの画面から別の画面にドラッグすることができ、表示可能なワークスペースの量を倍増させることができます。

お使いのグラフィックスカードに合わせた画面設定の変更については、ヘルプとサポートセンターのユーザーズガイドを参照してください（スタート ボタン、ヘルプとサポート、ユーザーズガイドおよびシステムガイド、**Device guides**（デバイスガイド）の順にクリックし、グラフィックスカードのガイドをクリックします）。

家庭用および企業用

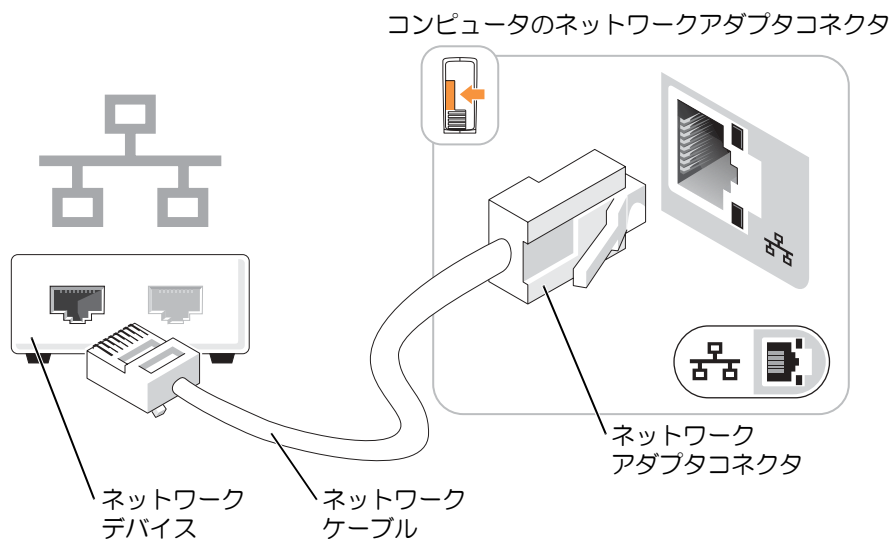
ネットワークアダプタへの接続

 **メモ：**ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。コンピュータのモデムコネクタにネットワークケーブルを接続しないでください。電話ジャックにネットワークケーブルを接続しないでください。

- 1 ネットワークケーブルをコンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。

ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。

- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークデバイスに接続します。



ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → 通信** とポイントしてから、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

 **メモ：** インターネットに直接接続している という接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムに用意されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

インターネットへの接続

 **メモ：** ISP や ISP のサービスは、国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などのインターネットサービスプロバイダ (ISP) との契約が必要になります。ISP は、以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を介してインターネットにアクセスするダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べてかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を介してインターネットに高速アクセスする DSL 接続。DSL 接続では、同じ回線でインターネットへのアクセスと電話の使用を同時に行うことができます。
- 地元のケーブル TV 回線を介してインターネットにアクセスするケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続を使用している場合は、インターネット接続をセットアップする前に、電話線をコンピュータのモデムコネクタと電話ジャックに接続します。DSL またはケーブルモデム接続を使用している場合は、ISP にセットアップ手順をお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップ上の **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってセットアップを完了させます。

デスクトップ上に **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP でインターネット接続をセットアップする場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。
新しい接続ウィザードが表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。

- 4 次のウィンドウで、該当するオプションをクリックします。
 - ISP と契約していない場合に新たに選択する場合は、**インターネット サービス プロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - ISP からセットアップ情報を入手していて、セットアップ CD を受け取っていない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD を持っている場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選択した場合は、ステップ 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の指示に従ってセットアップを完了させます。



メモ： 選択する接続の種類が不明な場合は、ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか？** で該当するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。
- 7 ISP から提供されるセットアップ情報を使用して、セットアップを完了させます。

インターネットへの接続に問題が発生した場合は、31 ページの「電子メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。以前にインターネットに正常に接続したことがあるにもかかわらず接続できない場合は、ISP がサービスを停止している可能性があります。ISP に問い合わせてサービスの状況を確認するか、後で再接続してください。

CD または DVD の再生

- ➡ **注意：**CD や DVD のトレイを開けたり閉めたりする際にトレイを押し下げないでください。ドライブを使用していない場合は、トレイを閉めたままにしてください。
- ➡ **注意：**CD や DVD を再生している場合は、コンピュータを移動しないでください。
 - 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
 - 2 ラベル面を上にしてディスクをトレイの中央に置きます。
 - 3 カチッと所定の位置に収まるまでディスクをトレイの中央に押し込みます。



- 4 取り出しボタンを押すか、トレイを軽く押し込みます。

データを保存するために CD をフォーマットしたり、音楽 CD を作成したり、CD をコピーしたりするには、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

 **メモ：**CD を作成する場合は、必ずすべての著作権法に従ってください。

CD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります。

	再生。
	現在のトラック内で巻き戻し。
	一時停止。
	現在のトラック内で早送り。
	停止。
	前のトラックへ移動。
	取り出し。
	次のトラックへ移動。

DVD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります。

	停止。
	再生。
	早送り。
	一時停止。
	早戻し。
	次のタイトルまたはチャプターへ移動。
	前のタイトルまたはチャプターへ移動。

CD や DVD の再生の詳細については、CD や DVD プレーヤーの **ヘルプ** をクリックします (ヘルプがある場合)。

音量の調節



メモ：スピーカーの音を消している場合は、CD や DVD を再生しても何も聞こえません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → エンターテインメント** をポイントしてから、**ボリューム コントロール** をクリックします。
- 2 **ボリューム コントロール** ウィンドウで、**ボリューム コントロール** 列のバーをクリックしてドラッグし、上下に移動して音量を調節します。

ボリューム コントロールのオプションの詳細については、**ボリューム コントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

画面の調整

エラーメッセージが表示され、現在の解像度や色の深度により多くのメモリが使用され DVD の再生を阻止していると通知された場合には、画面のプロパティを調節します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックしてドラッグし、設定を **800 x 600 ピクセル** に変更します。
- 5 **画面の色** のドロップダウンメニューをクリックし、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

CD および DVD のコピー



メモ：CD や DVD を作成する場合は、必ずすべての著作権法に従ってください

本項は CD-R、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブを持つコンピュータにのみ適用されます。



メモ：デルが提供する CD ドライブまたは DVD ドライブの種類は、国によって異なる場合があります。

以下の説明では CD や DVD の完全なコピーを作成する方法を示しています。コンピュータのオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成したりするなど、別の目的で Sonic RecordNow を使用することもできます。手順については、コンピュータに付属の Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの右上角にある疑問符 (?) アイコンをクリックし、ヘルプまたはチュートリアル オプションをクリックします。

CD または DVD のコピー方法



メモ： DVD/CD-RW コンボドライブを使用していて、録音する際に問題が発生した場合は、www.sonic.com の Sonic ウェブサイトで利用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

現在利用可能な DVD 書き込み可能ディスクフォーマットは、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、および DVD-RAM の 5 種類です。Dell™ コンピュータの DVD 書き込み可能ドライブでは、DVD+R および DVD+RW メディアへの書き込みや、DVD-R および DVD-RW メディアの読み取りが可能です。ただし、DVD 書き込み可能ドライブでは、DVD-RAM メディアへの書き込みや読み取りはできません。また、ホームシアターシステム用の市販の DVD プレーヤーでは、上記の 5 種類のフォーマットを読み取れない可能性があります。



メモ： 多くの市販の DVD は著作権で保護されているため、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **RecordNow!** をポイントしてから、**RecordNow!** をクリックします。
- 2 コピーする CD や DVD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブをクリックします。
- 3 **バックアップ** をクリックします。
- 4 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
 - オプティカルドライブが 1 台ある場合は、設定が正しいことを確認して、**コピー** をクリックします。ソースの CD や DVD ディスクが読み取られ、コンピュータのハードドライブにある一時フォルダにコピーされます。
プロンプトが表示されたら、オプティカルドライブに空の CD または DVD ディスクを挿入して、**OK** をクリックします。
 - オプティカルドライブが 2 台ある場合は、ソースの CD や DVD ディスクを挿入したドライブを選択して、**コピー** をクリックします。CD や DVD のデータが空の CD や DVD にコピーされます。

ソースの CD や DVD のコピーが終了したら、作成した CD や DVD が自動的に取り出されます。

空の CD-R、CD-RW、DVD+R および DVD+RW の使用

音楽を録音したり、データファイルを永久保存する場合は、空の CD-R を使用します。作成した CD-R ディスクには再度書き込むことができません（詳細については、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、書換え、更新したりする場合は、空の CD-RW を使用します。

DVD 書き込み可能ドライブでは、CD-R、CD-RW（高速 CD-RW を含む）、DVD+R、および DVD+RW の 4 種類の記録メディアに書き込むことができます。空の DVD+R を使用すると、大量の情報を永久保存することができます。ディスク作成プロセスの最終段階でディスクを「ファイナライズ」または「クローズ」した場合は、作成した DVD+R に再度書き込むことができない場合があります。そのディスクの情報を後で消去したり、書き換えたり、アップデートしたりする場合は、空の DVD+RW を使用してください。

役に立つヒント

- Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R や CD-RW にドラッグアンドドロップする場合は、まず Sonic RecordNow を起動して RecordNow プロジェクトを開いてください。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を作成するには、CD-R ディスクを使用する必要があります。
CD-RW は、ほとんどの家庭用ステレオやカーステレオでは再生できません。
- Sonic RecordNow では、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤー、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生することができます。
- 空の CD-R や CD-RW を最大容量まで焼かないでください。たとえば、650-MB のファイルを容量が 650-MB の空の CD にコピーしないでください。オプティカルドライブは、録音を完了させるために 1 MB または 2 MB の空の CD を必要とします。
- CD の録音技術に慣れるまで、空の CD-RW を使用して CD への録音を練習してください。間違えた場合は、CD-RW のデータを消去してやり直すことができます。また、音楽ファイルプロジェクトを空の CD-R に永久保存する場合には、空の CD-RW を使用してプロジェクトをテストできます。
- 追加情報については、**support.sonic.com** の Sonic サポートウェブサイトを参照してください。

Power Management (電力の管理)

Microsoft® Windows® XP の電力管理機能では、コンピュータの電源が入っていてそのコンピュータを使用していない場合に、コンピュータの消費電力を減らすことができます。モニターやハードドライブだけ電力を減らしたり、スタンバイモードや休止状態モードを使用してコンピュータ全体の電力を減らすことができます。コンピュータが省電力モードから復帰すると、Windows デスクトップはそのモードに入る前の状態に戻ります。



メモ：Windows XP Professional には、Windows XP Home Edition では利用できないセキュリティ機能やネットワーク機能が用意されています。Windows XP Professional コンピュータがネットワークに接続している場合は、セキュリティやネットワークに関する異なるオプションが特定のウィンドウに表示されます。

スタンバイモード

スタンバイモードでは、タイムアウト後、画面やハードドライブの電源を切って電力を節約します。スタンバイモードから復帰すると、コンピュータはそのモードに入る前の動作状態に戻ります。

非アクティブな状態が一定時間経過した後で、スタンバイモードを自動的に有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート ボタン**をクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロール パネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。

非アクティブな状態が一定時間経過するのを待たずに、ただちにスタンバイモードを有効にするには、**スタート ボタン**をクリックし、**終了オプション** をクリックして、**スタンバイ** をクリックします。

スタンバイモードから復帰するには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。



注意：コンピュータがスタンバイモードの間に電源を停止すると、データを損失する恐れがあります。

休止状態モード

休止状態モードでは、ハードドライブ上の確保された領域にシステムデータをコピーし、コンピュータの電源を完全に切ることによって電力を節約します。コンピュータが休止状態モードから復帰すると、デスクトップはそのモードに入る前の状態に戻ります。

休止状態モードを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート ボタン**をクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロール パネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定タブ、詳細設定タブ、および 休止状態タブ**で休止状態の設定を指定します。

休止状態モードから復帰するには、電源ボタンを押します。コンピュータが休止状態モードから復帰するのに少し時間がかかる場合があります。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたりしても、休止状態モードから復帰しません。これは、コンピュータが休止状態モードに入っている場合は、キーボードやマウスが機能しないためです。

休止状態モードでは、コンピュータメモリの中身を保存するのに十分な容量のあるハードドライブ上に特別なファイルを必要とします。このため、デルでは、コンピュータを出荷する前に、適切なサイズの休止状態モードファイルを作成しています。コンピュータのハードドライブが破損した場合、Windows XP は休止モードファイルを自動的に再作成します。

電源オプションのプロパティ

電源オプションのプロパティ ウィンドウで、スタンバイモード設定、休止状態モード設定、および他の電源設定を指定します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **コントロール パネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。
- 4 **電源設定** タブ、**詳細設定** タブ、および **休止状態** タブで電源設定を指定します。

電源設定タブ

標準の電源設定はそれぞれスキームと呼ばれます。コンピュータにインストールされた標準の Windows スキームのいずれかを選択する場合は、**電源設定** ドロップダウンメニューからスキームを選択します。各スキームの設定がスキーム名の下フィールドに表示されます。各スキームには、スタンバイモードや休止状態モードを開始したり、モニタやハードドライブの電源を切るための異なる設定があります。

電源設定 ドロップダウンメニューには以下のスキームが表示されます。

- **常にオン (デフォルト)** — 省電力設定を無効にしてコンピュータを使用する場合。
- **自宅または会社のデスク** — 自宅または会社のコンピュータとしてコンピュータを使用し、最小限の省電力設定を必要とする場合。
- **ポータブル / ラップトップ** — 移動中に使用するポータブルコンピュータの場合。
- **プレゼンテーション** — 中断することなく（省電力設定を使用せず）コンピュータを実行したい場合。
- **最小の電源管理** — 最小限の省電力設定でコンピュータを実行したい場合。
- **バッテリーの最大利用** — ポータブルコンピュータを使用しており、バッテリーでの使用時間を長くしたい場合。

スキームのデフォルト設定を変更する場合は、**モニタの電源を切る**、**ハード ディスクの電源を切る**、**システム スタンバイ**、または **システム休止状態** フィールドのドロップダウンメニューをクリックして、表示される一覧からタイムアウトを選択します。スキームフィールドのタイムアウトを変更すると、**名前を付けて保存** をクリックして変更したスキームの新しい名前を入力しない限り、そのスキームのデフォルト設定が変更されます。



注意：ハードドライブ（ハードディスク）がモニタの前にタイムアウトするように設定すると、コンピュータがロックアップしたような状態になります。回復するには、キーボードの任意のキーを押すか、マウスをクリックします。この問題を避けるために、ハードドライブの前にモニタがタイムアウトするように設定してください。

詳細設定タブ

詳細設定 タブでは以下を実行することができます。

- すばやくアクセスできるように、電源オプションアイコン  を Windows のタスクバーに配置する。
- コンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードから復帰する前に、Windows のパスワードの入力を求めるように設定する。
- スタンバイモードや休止状態モードを有効にしたり、コンピュータの電源を切るように、電源ボタンを設定する。

これらの機能を有効にするには、対応するドロップダウンメニューでオプションをクリックし、**OK** をクリックします。

休止状態タブ

休止状態 タブでは、休止状態モードを有効にすることができます。**電源設定** タブで指定した休止状態設定を使用する場合は、**休止状態** タブの **休止状態を有効にする** チェックボックスをオンにします。

電力管理オプションの詳細については、以下を確認してください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **ヘルプとサポート** ウィンドウで **パフォーマンスと保守** をクリックします。
- 3 **パフォーマンスと保守** ウィンドウで、**コンピュータの電源を節約する** をクリックします。

ハイパースレッディング

ハイパースレッディングは、Intel® のテクノロジーで、1つの物理プロセッサを2つの論理プロセッサとして機能させることでパフォーマンスを全体的に向上し、複数のタスクを同時に処理することを可能にします。Windows XP オペレーティングシステムは、ハイパースレッディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Microsoft® Windows® XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることとなりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合があります。ソフトウェアの製造元に、アップデートやハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法についてお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジーを使用しているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、**プロセッサ** の横の (+) サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは2つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティの使用の詳細については、108 ページを参照してください。

問題の解決

トラブルシューティングのヒント

次のヒントに従ってコンピュータのトラブルシューティングを行ってください。

- 問題が発生し始める前に部品の取り付け / 取り外しを行った場合は、その手順を再度確認して、取り付け / 取り外しが正しく行われたか確認します。
- 周辺機器が機能しない場合は、その機器が適切に接続されているか確認します。
- エラーメッセージが画面に表示される場合は、そのメッセージを正確に書き留めておきます。このメッセージは、テクニカルサポート担当者が問題を分析および解決するのに役立つ場合があります。
- エラーメッセージが特定のプログラム内で表示される場合は、そのプログラムのマニュアルを参照します。

バッテリーの問題



警告：新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのものと交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

バッテリーを交換します — コンピュータの電源を入れた後、時間と日付の情報を繰り返しリセットする必要がある場合、または起動時に間違った時間または日付が表示される場合は、バッテリーを交換します（99 ページを参照してください）。それでもバッテリーが正常に機能しない場合、デルにお問い合わせください（120 ページを参照してください）。

ドライブの問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、**マイ コンピュータ** をクリックします。お使いのフロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ドライブを確認します —

- 別のフロッピーディスク、CD、または DVD を挿入して、元のディスクに問題がないことを確認します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

メモ：このシステムはオプションで USB フロッピードライブをサポートしています。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — 116 ページを参照してください。

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 55 ページを参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 51 ページを参照してください。

CD および DVD ドライブの問題



メモ：高速 CD または DVD ドライブの振動は正常です。この振動によってノイズが生じることがありますが、ドライブの欠陥や CD または DVD の欠陥を示すものではありません。



メモ：国や地域によってディスクフォーマットが異なるため、すべての DVD がお使いの DVD ドライブで再生できるわけではありません。

WINDOWS の音量を調整します —

- 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- サウンドがミュートに設定されていないか確認し、設定されている場合はチェックマークの付いたボックスをクリックします。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 43 ページの「サウンドとスピーカーの問題」を参照してください。

CD/DVD-RW ドライブに書き込みができない場合

他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブは、データを書き込むときに一定したデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW への書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD/DVD-RW への書き込みを開始する前に、WINDOWS のスタンバイモードを無効にします — 省電力モードについては、25 ページを参照するか、Windows のヘルプで「スタンバイ」というキーワードで検索して該当するトピックを参照してください。

ハードドライブの問題

チェックディスクユーティリティを実行します —

- 1 スタート ボタンをクリックして、**マイ コンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカル ディスク (C:)** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール タブ** をクリックします。
- 5 エラーチェック の項目で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

電子メール、モデム、およびインターネットの問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。



メモ：モデムはアナログ電話ジャックにのみ接続してください。デジタル電話網に接続していると、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します。 — 電子メールの添付ファイルを開くことができない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 Outlook Express で、**ツール** をクリックし、**オプション** をクリックします。次に、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **添付ファイルを許可しない** をクリックしてチェックマークを外します。

電話回線ケーブルの接続を確認します —**電話ジャックを確認します —****モデムを壁の電話ジャックに直接接続します —****別の電話回線ケーブルを使用します —**

- 電話回線ケーブルがモデムのジャックに接続されているか確認します（ジャックには緑色のラベルが付いているか、その隣にコネクタ形のアイコンが付いています）。
- モデムに電話回線ケーブルのコネクタを挿入したときにカチッという音がするか、またはその感触があるか確認します。
- モデムから電話回線ケーブルを外し、それを電話に接続します。発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、スプリッタなどの、電話回線を共有する他の電話機器がある場合は、それらの機器を経由せずに、モデムを壁の電話ジャックに直接接続します。3 m 以上の電話回線ケーブルを使用している場合は、より短いものを使用してみます。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を特定して解決します（Modem Helper は一部のコンピュータでは使用できません）。

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します —

- 1 スタート ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
 - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
 - 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
 - 4 **モデム** タブをクリックします。
 - 5 モデムの COM ポートをクリックします。
 - 6 **プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックし、**モデムの照会** をクリックして、モデムが Windows と通信しているか確認します。
- すべてコマンドに対して応答があった場合、モデムは正常に動作しています。

インターネットに接続しているか確認します — インターネットサービスプロバイダと契約していることを確認します。Outlook Express 電子メールプログラムを開き、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の隣にチェックマークが付いている場合は、そのチェックマークをクリックして外してから、インターネットに接続します。詳細については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

エラーメッセージ

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステム、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名には次の文字は使用できません： ¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 開こうとしているプログラムに必須のファイルが見つかりません。次の操作をおこない、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックします。次に、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 **プログラムの変更と削除** アイコンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

< ドライブ文字 > ： ¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません。 — ドライブがディスクを読めません。ディスクをドライブに挿入して、再度試してみます。

起動可能なメディアを挿入 — 起動ディスクまたは起動 CD を挿入します。
メモ： このシステムはオプションで USB フロッピードライブをサポートしています。

非システムディスクエラー — フロッピーディスクをドライブから取り出し、コンピュータを再起動します。
メモ： このシステムはオプションで USB フロッピードライブをサポートしています。

メモリまたはリソースが不足しています。開いているプログラムを閉じ、再試行してください。 — すべてのウィンドウを閉じ、使用したいプログラムを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、使用したいプログラムを最初に実行します。

オペレーティングシステムが見つかりません。 — デルにお問い合わせください（120 ページを参照してください）。

メディアカードリーダーの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

ドライブ文字が割り当てられません —

Microsoft Windows XP がメディアカードリーダーを検知すると、システム内の他のすべての物理ドライブに続く次の論理ドライブとして、メディアカードリーダーにドライブ文字を自動的に割り当てます。物理ドライブに続く次の論理ドライブがネットワークドライブに割り当てられている場合、Windows XP はメディアカードリーダーにドライブ文字を自動的に割り当てません。メディアカードリーダーに手動でドライブ文字を割り当てするには、次の手順を実行します。

- 1 **マイ コンピュータ** アイコンを右クリックし、**管理** を選択します。
- 2 **ディスクの管理** オプションを選択します。
- 3 右側のウィンドウで、変更する必要があるドライブ文字を右クリックします。
- 4 **ドライブ文字とパスの変更** をクリックします。
- 5 ドロップダウンリストから、メディアカードリーダーに割り当てる新しいドライブ文字を選択します。
- 6 **OK** をクリックして選択を確定します。

メモ： 接続されているときのみ、メディアカードリーダーは割り当て済みのドライブとして表示されます。メディアがインストールされていない場合でも、4 つのメディアカードリーダースロットはそれぞれドライブに割り当てられます。メディアが挿入されていないときにメディアカードリーダーにアクセスしようとすると、メディアを挿入するように求められます。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

デバイスおよびコンピュータのコネクタに IEEE 1394 デバイスのケーブルが適切に挿入されていることを確認します

IEEE 1394 デバイスが Windows によって認識されているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
 - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- お使いの IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows がそのデバイスを認識しています。

DELL IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合 — デルにお問い合わせください（120 ページを参照してください）。

DELL 以外の IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合 — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

キーボードの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

キーボードケーブルを確認します —

- ・キーボードケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。
- ・コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、キーボードケーブルを接続しなおします。
- ・ケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。
- ・キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 55 ページを参照してください。

コンピュータのロックアップおよびソフトウェアの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

コンピュータが起動しない場合

診断ライトを確認します — 47 ページを参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの反応が停止した場合

 **注意：**オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します —

- 1 <Ctrl> <Shift> <Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 応答しなくなったプログラムをクリックします。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返し壊れる場合

 **メモ：**ソフトウェアのインストール手順は、通常、ソフトウェアのマニュアルまたはフロッピーディスクや CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを確認します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーティングシステム用に設計されている場合

プログラム互換性ウィザードを実行します — プログラム互換性ウィザードは、Windows XP 以外のオペレーティングシステムの環境に似た環境で動作するようにプログラムを設定します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ** とポイントしてから、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

画面が青一色になった場合

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムとプログラムに互換性があるか確認します。
- ソフトウェアの実行に必要な最低限のハードウェア要件をコンピュータが満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが適切にインストールされ、正しく設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

ファイルを直ちにバックアップします

アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルまたはプログラムをすべて保存してから閉じ、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

メモリの問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない開いているプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（71 ページを参照してください）。
- メモリモジュールを装着しなおし（71 ページを参照してください）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（51 ページを参照してください）。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし（71 ページを参照してください）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（69 ページを参照してください）。
- お使いのコンピュータは DDR2 メモリに対応しています。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、103 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（51 ページを参照してください）。

マウスの問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

マウスをクリーニングします — 116 ページを参照してください。

マウスケーブルを確認します —

- 1 ケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。
- 2 マウス延長ケーブルを使用している場合は取り外し、マウスを直接コンピュータに接続します。
- 3 コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、マウスケーブルを接続しなおします。

コンピュータを再起動します —

- 1 <Ctrl> <Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 **u** と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**シャットダウン** または **電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源を切った後、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、マウスケーブルを接続しなおします。
- 4 コンピュータを起動します。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。

マウスの設定を確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を調整してみます。

マウスドライバを再インストールします — 53 ページを参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 55 ページを参照してください。

ネットワークの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルが、コンピュータ背面のネットワークコネクタとネットワークジャックの両方にしっかりと挿入されているか確認します。

コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — リンク保全ライトが消灯している場合は、ネットワーク通信が行われていません。この場合は、ネットワークケーブルを交換します。ネットワークインジケータの説明については、106 ページの「ボタンとライト」を参照してください。

コンピュータを再起動して、ネットワークに再度ログオンします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者またはネットワーク構築者に連絡して、ネットワークの設定が正しいか、またはネットワークが正常に機能しているか確認します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 55 ページを参照してください。

電源の問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータが応答しない場合 — 47 ページの「診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押すか、マウスを動かすか、電源ボタンを押して、通常の動作状態に戻します。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっているか確認します。また、電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどを使用している場合は、それらを取り外してコンピュータの電源が適切に入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
- 主電源ケーブルおよび正面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（68 ページを参照してください）。

電源ライトが橙色に点灯している場合 — デバイスが誤動作しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（68 ページを参照）。
- メモリモジュールを取り外してから装着しなおします（71 ページを参照してください）。
- すべてのカードを取り外してから装着しなおします（73 ページを参照してください）。
- グラフィックカードを取り付けている場合は取り外してから装着しなおします（73 ページを参照してください）。

電源ライトが橙色に点滅している場合 — コンピュータに電源は供給されていますが、コンピュータ内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- コンピュータを使用している地域の AC 電源の電圧と一致するように、電圧選択スイッチを設定しているか確認します（該当する場合のみ）。
- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（68 ページを参照してください）。

電波障害を除去します — 電波障害の原因には、以下のものが考えられます。

- 電源、キーボード、およびマウス延長ケーブルが使用されている
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。



メモ：プリンタのテクニカルサポートが必要な場合は、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — セットアップとトラブルシューティングについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているか確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブルの接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（13 ページを参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

プリンタが WINDOWS によって認識されているか確認します —

- 1 スタート ボタンをクリックし、コントロール パネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- 2 インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する をクリックします。
お使いのプリンタが一覧に表示されている場合、プリンタアイコンを右クリックします。
- 3 プロパティ をクリックし、ポート タブをクリックします。USB プリンタの場合、印刷先のポート が USB に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。



メモ：スキャナーのテクニカルサポートが必要な場合、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — セットアップとトラブルシューティングについては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーをアンロックします — スキャナーにロックタブまたはボタンがある場合は、スキャナーがアンロックされているか確認します。

コンピュータを再起動し、スキャナーを再度試してみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブルの接続については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

スキャナーが MICROSOFT WINDOWS によって認識されているか確認します —

- 1 スタート ボタンをクリックし、コントロール パネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- 2 スキャナとカメラ をクリックします。
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows がそのスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

スピーカーから音がしない場合

 **メモ：**MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量調節より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いている場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属のセットアップ図に示されているように、スピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーとスピーカーの電源が切れているか確認します — スピーカーに付属のセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音のひずみを解消します。

WINDOWS の音量を調整します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — ヘッドフォンがコンピュータの正面パネルのヘッドフォンコネクタに接続されている場合、スピーカーからの音声は自動的に無効になります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

スピーカーの診断プログラムを実行します — 詳細については、スピーカーのマニュアルを参照してください。

サウンドドライバを再インストールします — 53 ページを参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 55 ページを参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンケーブルの接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（63 ページを参照してください）。

WINDOWS の音量を調整します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ビデオとモニタの問題



メモ：トラブルシューティングについては、モニタのマニュアルを参照してください。



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

画面に何も表示されない場合

モニタケーブルの接続を確認します —

- コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、グラフィックケーブルが接続されているか確認します。
- グラフィック延長ケーブルを使用していて、その延長ケーブルを取り外すことによって問題が解決する場合、ケーブルの不良です。
- コンピュータおよびモニタの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。
- コネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか確認します。（モニタのケーブルコネクタは、通常いくつかのピンが欠けています）。

モニタの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニタに電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターに電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

診断ライトを確認します — 47 ページを参照してください。

画面が見づらい場合

モニタの設定を確認します — コントラストや輝度を調整したり、モニタから磁気を除いたり、モニタの自己テストを実行する手順については、モニタのマニュアルを参照してください。

モニタからサブウーハーを遠ざけます — スピーカーシステムにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがモニタから 60 cm 以上離れているか確認します。

モニタを外部電源から遠ざけます — ファン、蛍光灯、ハロゲンライト、およびその他の電化製品によって画面が「ぶれる」ことがあります。近くのデバイスの電源を切って干渉を調べます。

モニタの向きを変えて画面への太陽光の映りこみや電磁障害を除去します

WINDOWS の画面設定を調整します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **画面** をクリックし、**設定** タブをクリックします。
- 3 **画面の解像度** および **画面の色** で別の設定にしてみます。

トラブルシューティングツール

診断ライト

 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

問題のトラブルシューティングを容易にするため、コンピュータの背面パネルに「1」、「2」、「3」、および「4」とラベルのついた 4 つのライトがあります（63 ページを参照してください）。コンピュータの起動プロセスが正常に開始すると、これらのライトが点滅します。コンピュータの起動後、4 つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤作動した場合は、ライトの色とパターンで問題を識別できます。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
   	コンピュータが通常の「オフ」の状態、または BIOS に障害が起こっている可能性があります。	機能しているコンセントにコンピュータを接続し、電源ボタンを押します。
   	プロセッサの障害が発生した可能性があります。	デルにお問い合わせください（120 ページを参照）。
   	メモリモジュールが検出されましたが、メモリに障害が発生しています。	- 取り付けているメモリモジュールが 2 つ以上の場合、モジュールを取り外してモジュールの 1 つを取り付けなおし（71 ページを参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 - 同じ種類の正常に動作しているメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（69 ページを参照）。 - 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（120 ページを参照）。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
①②③④	グラフィックカードに障害が発生している可能性があります。	• コンピュータにグラフィックカードを取り付けている場合は、そのカードをいったん取り外してから取り付けなおし（73 ページを参照）、コンピュータを再起動します。 • 問題が解決しない場合は、正常に機能する別のグラフィックカードを取り付け、コンピュータを再起動します。 • 問題が解決しないか、コンピュータにオンボードグラフィックがある場合は、デルにお問い合わせください（120 ページを参照）。
①②③④	フロッピードライブまたはハードドライブに障害が起こっている可能性があります。	すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。
①②③④	USB に障害が起こっている可能性があります。	すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。
①②③④	メモリモジュールが検出されませんでした。	• 取り付けているメモリモジュールが 2 つ以上の場合、モジュールを取り外してモジュールの 1 つを取り付けなおし（71 ページを参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 • 同じ種類の正常に動作しているメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（69 ページを参照）。 • 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（120 ページを参照）。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
①②③④	メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。	- 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないことを確認します (69 ページを参照)。 - 取り付けるメモリモジュールがコンピュータと互換性があるかどうかを確認します (69 ページを参照)。 - 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (120 ページを参照)。
①②③④	拡張カードに障害が起こっている可能性があります。	- ビデオカード以外のカードを 1 つ取り外し (73 ページを参照)、コンピュータを再起動して、コンフリクトが起きているかどうかを調べます。 - 問題が解決しない場合は、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 - 各カードでこの手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合は、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングを行います (55 ページを参照)。 - 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (120 ページを参照)。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
   	別の障害が発生しました。	- ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブのケーブルがシステム基板に正しく接続されているかどうかを確認します (68 ページを参照)。 - デバイス (フロッピードライブやハードドライブなど)のエラーメッセージが画面に表示されている場合は、そのデバイスが正常に機能しているかどうかを確認します。 - オペレーティングシステムがデバイス (フロッピードライブやハードドライブなど)からの起動を試みています。セットアップユーティリティを使って、コンピュータに取り付けられているデバイスの起動シーケンスが正しいかどうかを確認してください (107 ページを参照)。 - 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (120 ページを参照)。
   	POST 後、コンピュータは通常の動作状態にあります。	特にありません。

Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、29 ページの「問題の解決」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

 **注意：** Dell Diagnostics（診断）プログラムは Dell™ コンピュータでのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。
キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして、操作をやり直してください（59 ページを参照してください）。
- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition（起動元ユーティリティパーティション）** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu（メインメニュー）** が表示されたら、実行するテストを選びます（51 ページを参照してください）。

Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu（メインメニュー）

- 1 Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu（メインメニュー）** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をすばやく特定することができます。
Extended Test （拡張テスト）	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストには 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test （カスタムテスト）	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree （症状ツリー）	最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択できます。

- 2 テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

エラーを解決できない場合は、デルにお問い合わせください（120 ページを参照してください）。



メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになると、テクニカルサポート担当者がお客様のサービスタグをお尋ねします。

- 3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照してください）。

タブ	機能
結果	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors（エラー）	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help（ヘルプ）	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration（構成）	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手して、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters（パラメータ）	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テスト画面を閉じて、**Main Menu**（メインメニュー）画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu**（メインメニュー）画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、またはキーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合にドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新規デバイスの接続またはインストール。ドライバの確認

デバイスで問題が発生した場合、ドライバが問題の原因でないか識別して、必要に応じてドライバをアップデートします。

Windows XP

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロール パネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 3 システム をクリックします。
- 4 システムのプロパティ ウィンドウで、ハードウェア タブをクリックします。
- 5 デバイスマネージャ をクリックします。
- 6 一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[!] の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（53 ページを参照）。

ドライバの再インストール



注意：デルサポートウェブサイト support.dell.com では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

ドライバをインストールまたはアップデートした後にコンピュータに問題が発生する場合、Windows XP デバイスドライバのロールバックを使ってドライバを以前のバージョンに戻します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロール パネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 3 システム をクリックします。
- 4 システムのプロパティ ウィンドウで、ハードウェア タブをクリックします。
- 5 デバイスマネージャ をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、プロパティ をクリックします。
- 7 ドライバタブをクリックします。
- 8 ドライバのロールバック をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合、システムの復元を使って、新しいドライバがインストールされる前の動作状態にオペレーティングシステムを戻します。

ドライバの手動再インストール

- 1 ハードドライブにドライバファイルをコピーした後、スタート ボタンをクリックし、マイコンピュータ を右クリックします。
- 2 プロパティ をクリックします。
- 3 ハードウェア タブをクリックして、デバイスマネージャ をクリックします。
- 4 ドライバをインストールするデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 ドライバをインストールするデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 ドライバタブをクリックし、ドライバの更新 をクリックします。
- 7 一覧または特定の場所からインストールする (詳細) をクリックし、次へ をクリックします。
- 8 参照 をクリックし、ドライバファイルを前回解凍した場所を探して選択します。
- 9 該当するドライバの名前が表示されたら、次へ をクリックします。
- 10 完了 をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されたが正しく設定されていない場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性を解決できます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性を解決するには

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** 領域で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** と入力し、矢印をクリックして検索を開始します。
- 3 **検索結果** 一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります** をクリックして、**次へ** をクリックします。

オペレーティングシステムの復元

次のような方法でオペレーティングシステムを復元できます。

- Microsoft Windows XP システムの復元は、データファイルに影響を及ぼすことなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。
- Symantec による Dell PC の復元は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。Dell PC Restore は、ハードドライブ上のデータを完全に削除し、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションをすべて削除します。



メモ： Dell PC Restore は、特定の地域で購入したコンピュータでのみ使用できます。

Microsoft Windows XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプにアクセスするには、11 ページを参照してください。



注意： データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。



メモ： 本書に記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、Windows のクラシック表示に設定している Dell™ コンピュータには適用されません。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバのインストール後に問題が発生する場合は、デバイスドライバのロールバック（54 ページを参照）を使って問題を解決します。それでも問題を解決できない場合に、システムの復元を使用します。



注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを以前の状態に復元する時点の日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

- 4 復元ポイントを選んで、**次へ** をクリックします。
日付に復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選ばれます。複数の復元ポイントが利用できる場合、使用する復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
システムの復元がデータの収集を完了した後、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータは再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す



注意：最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。

すべてのドライブでシステムの復元を無効にする のチェックマークが外されているか確認します。

Dell PC Restore by Symantec の使い方



メモ： Dell PC Restore は、特定の地域で購入したコンピュータでのみ使用できます。

Dell PC Restore by Symantec は、オペレーティングシステムを復元する最後の手段としてのみ使用してください。Dell PC Restore by Symantec は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。コンピュータ購入後に追加したプログラムやファイルを始め、データファイルもハードドライブから完全に削除されます。データファイルとは、ワープロソフトの文書、表計算ソフトのワークシート、電子メールメッセージ、デジタル写真、音楽ファイルなどです。できる限り、Dell PC の復元前にすべてのデータをバックアップしてください。



注意： Dell PC の復元では、ハードドライブ上のデータを完全に削除し、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションをすべて削除します。できる限り、Dell PC の復元前にすべてのデータをバックアップしてください。

Dell PC の復元を使用するには

- 1 コンピュータの電源を入れます。
起動プロセスの間、**www.dell.com** と書かれた青いバーが画面の上部に表示されます。
- 2 この青いバーが表示されたら、すぐに **<Ctrl><F11>** を押します。
<Ctrl><F11> を押すタイミングがずれると、コンピュータは再起動を完了し、もう一度、再起動されます。
- 3 **注意：** Dell PC Restore を起動しない場合は、次の手順で **再起動** をクリックします。
- 3 表示された次の画面で、**Restore** をクリックします。
- 4 次の画面で、**Confirm** をクリックします。
復元プロセスの完了には 6 ～ 10 分ぐらいかかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。



メモ： コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックすると、コンピュータが完全に再起動されます。

- 6 プロンプトが表示されたら、**Yes** をクリックします。
コンピュータが再起動されます。コンピュータが元の動作状態に戻るので、表示される画面、たとえばエンドユーザーライセンス契約の画面などは、コンピュータの電源を初めて入れたときと同じものです。
- 7 **次へ** をクリックします。
システムの復元 画面が表示されて、コンピュータが再起動します。
- 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

部品の取り外しと取り付け

再インストールする前に

ここでは、お使いのコンピュータの部品の取り外しと取り付けの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「59 ページの「コンピュータの電源を切る」 および「60 ページの「コンピュータ内部の作業を始める前に」」の手順をすでに完了していること。
- Dell™ の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- 取り外しの手順を逆の順序で実行して、部品を交換できること。また、部品を別売りで購入した場合は、取り外しの手順を逆の順序で実行して、部品の取り付けができること。

推奨ツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のようなツールが必要です。

- 小型のマイナスドライバ
- プラスドライバ

コンピュータの電源を切る



注意：データの損失を防ぐため、開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了してから、コンピュータの電源を切ります。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンするには、次の手順を実行します。
 - a 開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
 - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
オペレーティングシステムのシャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。

コンピュータ内部の作業を始める前に

身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意事項に従ってください。

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **警告：**部品やカードは丁寧に扱ってください。コンポーネントに接触したり、カードの接点に触れないでください。カードを持つときは、縁の部分か金属製カード取り付けブラケットを持ってください。プロセッサチップなどの部品を持つ際は、ピンではなく縁を持ってください。

 **注意：**コンピュータの修理は、認可されたサービス技術者のみがおこなってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

 **注意：**ケーブルを抜く際は、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブルそのものを引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。

 **注意：**コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1 コンピュータの電源を切ります（59 ページを参照してください）。

 **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2 電話ケーブルやネットワークケーブルをコンピュータから取り外します。

3 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

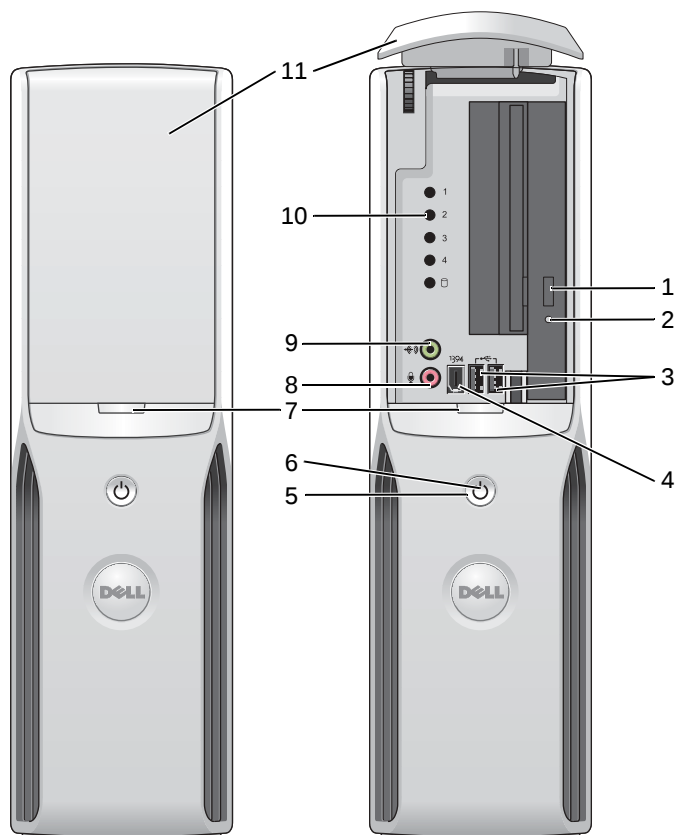
4 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。

 **注意：**コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を逃がしてください。

コンピュータの正面および背面

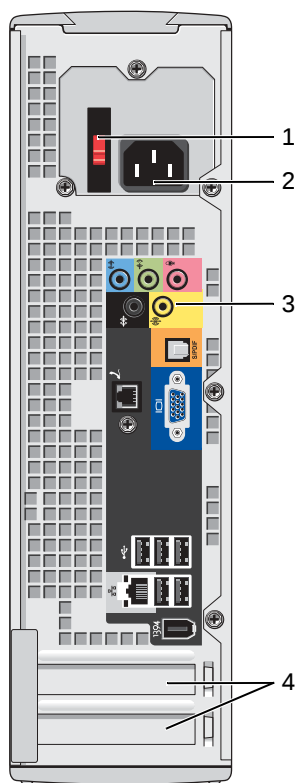
正面

-  **メモ：**特定のフラッシュメディアや IEEE 1394、USB、またはヘッドフォンコネクタを使用している場合、正面パネルドアは閉まりません。
-  **メモ：**正面パネルドアは取り外し可能で、取り外したり、または誤ってヒンジから外してしまっても元に戻ります。ドアを再度取り付ける方法については、65 ページを参照してください。

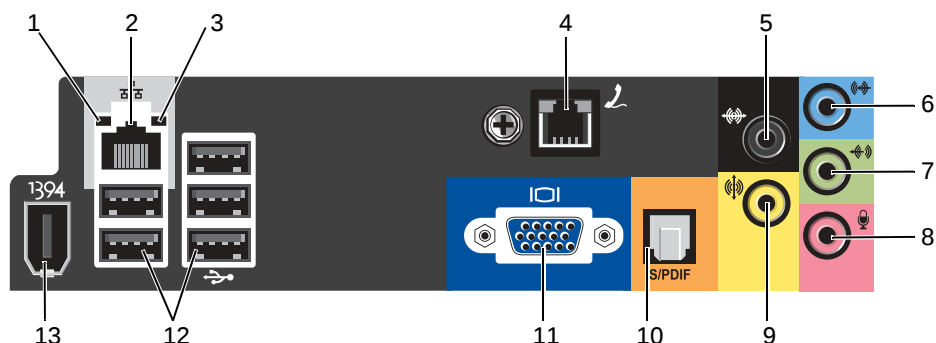


1	CD/DVD ドライブ 取り出しボタン	このボタンを押すと、CD または DVD をドライブから取り出せます。
2	CD または DVD ドライブ動作ライト	ドライブ動作ライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを 読み取る際に点灯します。
3	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックやカメラなどの時々接続するデバイスには、正面 USB コネクタ を使用します (USB デバイスの起動についての詳細は、107 ページの「セットアップ ユーティリティ」を参照してください)。 プリンタおよびキーボードなど通常接続したままのデバイスは、背面の USB コネ クタを使用することをお勧めします。
4	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなど、高速シリアルマルチメディアデバイスを接続します。 外部ハードドライブやその他のストレージデバイスなど、通常接続したままのデバ イスには、背面の IEEE 1394 コネクタを使用することをお勧めします。
5	電源ボタン	このボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。  注意： データの損失を防ぐため、電源ボタンを使ってコンピュータの電源 を切らないでください。電源ボタンを押さずに、オペレーティングシステ ムのシャットダウンを実行してください。
6	電源ライト	電源ライトは、点滅したり点灯することで異なる状態を示します。 - 点灯しない — コンピュータの電源は切れています。 - 緑色の点灯 — コンピュータは、通常の動作状態です。 - 緑色の点滅 — コンピュータは省電力状態です。 - 点滅または黄色の点灯 — 40 ページの「電源の問題」を参照してください。
7	前面パネルドアリリース ボタン	このボタンを押して正面パネルコネクタを使用します。
8	マイクコネクタ	桃色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽 をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのマイクコネクタを使 用します。
9	ヘッドフォンコネクタ	緑色のヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンやほとんどの種類のス ピーカーを接続できます。
10	診断ライト	それぞれの診断ライトの意味の詳細については、47 ページの「診断ライト」を 参照してください。
11	正面パネルドア	このパネルは、CD または DVD ドライブ、メディアカードリーダー、およびオ プシヨンのフロッピードライブを保護します。

コンピュータの背面



1	電圧切り替えスイッチ (使用できないコンピュータもあります)	詳細については、『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を参照してください。
2	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
3	背面パネルコネクタ	シリアル、USB、およびその他のデバイスのプラグを対応するコネクタに差し込みます。
4	カードスロット	インストール済みの PCI または PCI Express カードのコネクタに接続します。



1 リンク保全ライト	- 緑色 — 10 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 - 橙色 — 100 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 - オフ — ネットワークとの物理的な接続が検知されていません。
2 ネットワークアダプタコネクタ	コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに接続するには、ネットワークケーブルの一方の端をネットワークジャックやブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端は、コンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッという音がすれば、ネットワークケーブルはしっかり接続されています。 メモ： ネットワークコネクタにモデムケーブルを接続しないでください。 ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。 ネットワークには、カテゴリ 5 の配線とコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 の配線を使用する必要がある場合、信頼性のあるオペレーションを保証するために、ネットワーク速度を 10 Mbps に設定してください。
3 ネットワーク動作ライト	黄色のライトは、コンピュータがネットワークデータを送信、または受信している際に点滅します。ネットワークトラフィックが多い場合、このライトが「点灯」の状態に見えることがあります。
4 モデムコネクタ	モデムコネクタを使用して、コンピュータをインターネットに接続します。
5 サラウンドサウンドコネクタ	黒いサラウンドサウンドコネクタを使用して、マルチチャンネル対応スピーカーを接続します。
6 ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR (ビデオカセットレコーダー) などの録音 / 再生デバイスを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。

7	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
8	マイク / 側面 サラウンドサウンド コネクタ	桃色および銀色のコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのマイクコネクタを使用します。
9	センター / LFE コネクタ	80 Hz 以下の低周波数情報のみを搬送するデジタルサラウンドサウンドオーディオ方式で使用される LFE（低周波数効果）オーディオチャンネル。LFE チャンネルでは、超低音を引き伸ばすサブウーハーが使用されます。サブウーハーを使用しないシステムでは、LFE 情報をサラウンドサウンド設定のメインスピーカーに分流できます。
10	S/PDIF コネクタ	このコネクタは、アナログオーディオ変換処理を行わずにデジタルオーディオを伝送する場合に使用します。
11	VGA コネクタ	お使いのモニタに VGA コネクタがある場合は、そのコネクタをコンピュータの VGA コネクタに差し込みます。
12	USB 2.0 コネクタ (5)	プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラなど、時々接続するデバイスには、正面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
13	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなど、高速シリアルマルチメディアデバイスを接続します。

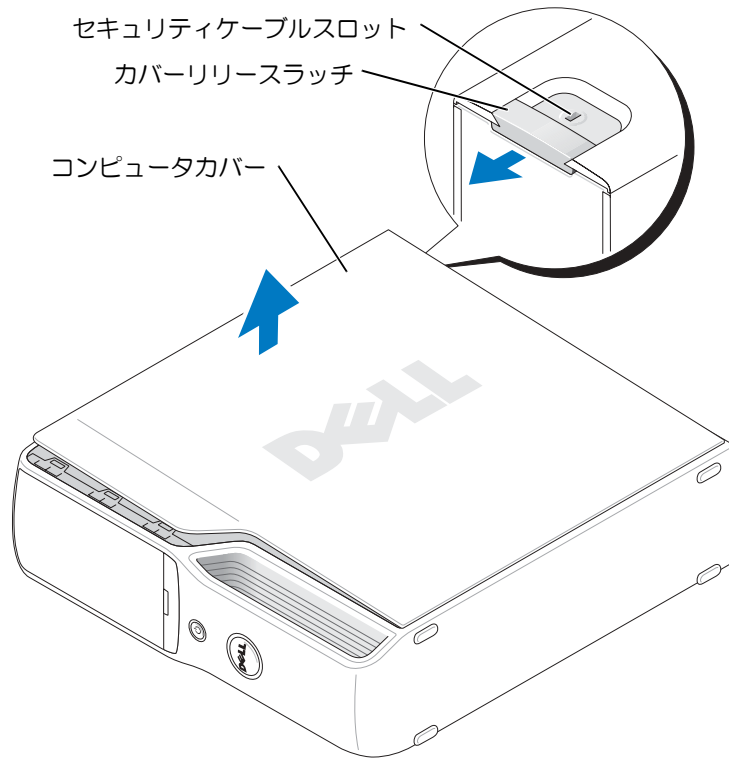
コンピュータカバーの取り外し

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします（59 ページを参照してください）。
- 2 コンピュータと接続されているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線をコンピュータから取り外します。
- 4 コンピュータと接続されているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ➡ **注意：**取り外したカバーを保持するのに十分なスペース（最低 30 cm のデスクトップスペース）があることを確認します。
 - ➡ **注意：**コンピュータまたはコンピュータが載っている表面を傷つけないように、保護された水平な表面で作業するようにしてください。
- 5 コンピュータカバーの面が上になるようにコンピュータを置きます。
 - 6 上部パネルのカバーラッチリリースを引っ張ります。

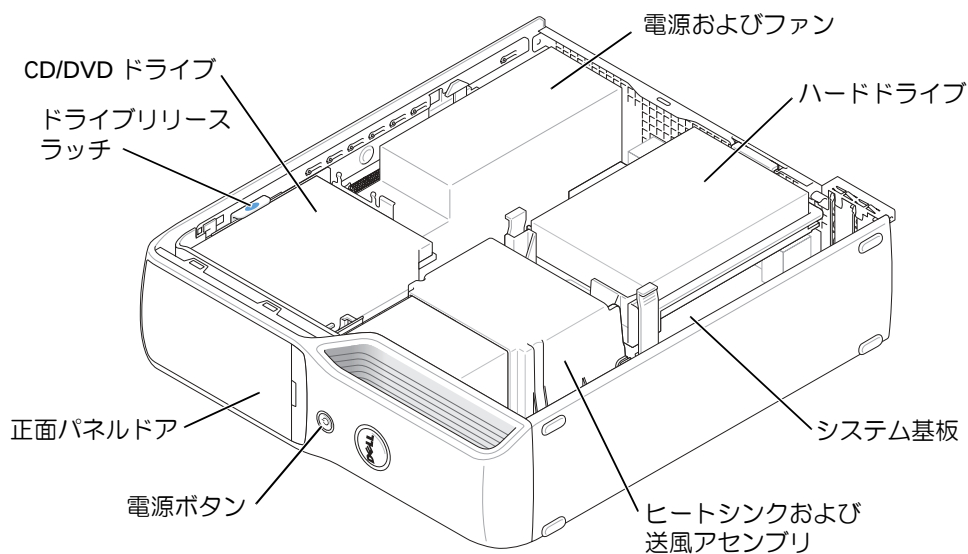


- 7 コンピュータ下端の 2 つのヒンジタブを探します。
- 8 コンピュータカバーの側面をつかみ、下部ヒンジをてこの支点にしてカバーを上回転します。
- 9 ヒンジタブからカバーを外し、安全な場所に保管します。

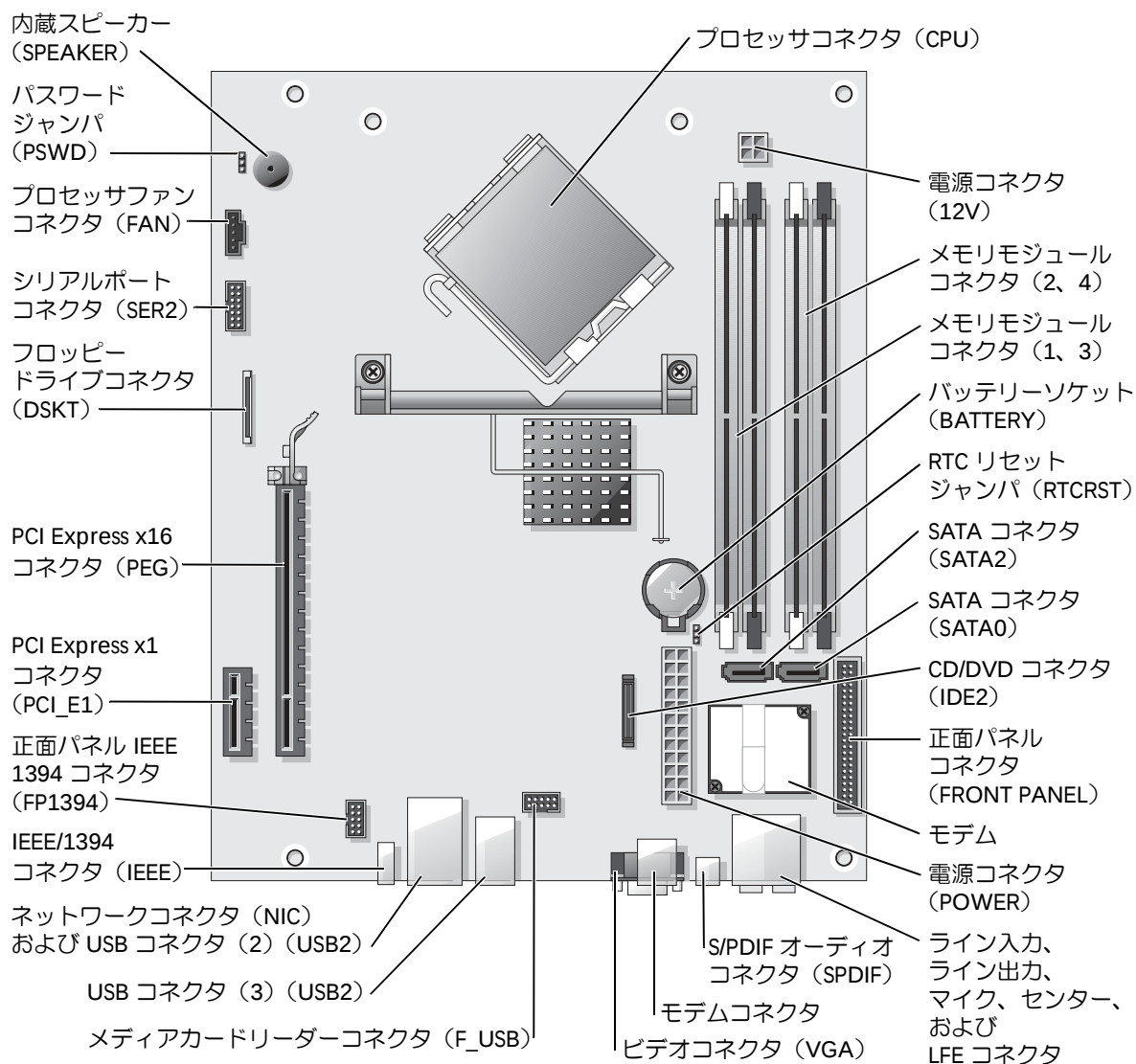
コンピュータの内部

 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。



システム基板のコンポーネント



メモリ

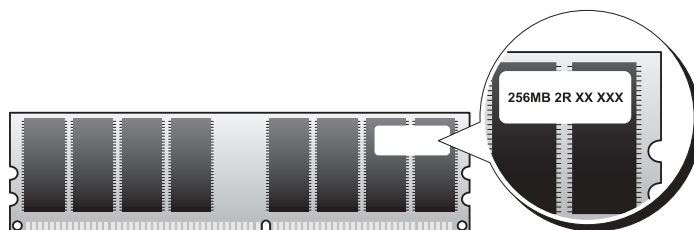
システム基板にメモリモジュールを取り付けることで、コンピュータメモリを増やすことができます。

お使いのコンピュータは DDR2 メモリに対応しています。

 **メモ：**このコンピュータではバッファメモリはサポートされていません。

DDR2 メモリの概要

DDR2 メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズ、速度、およびテクノロジーのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。DDR2 メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けしていない場合、コンピュータは動作しますが、性能が少し落ちます。モジュールの容量を判断するには、モジュールに付いているラベルを確認してください。



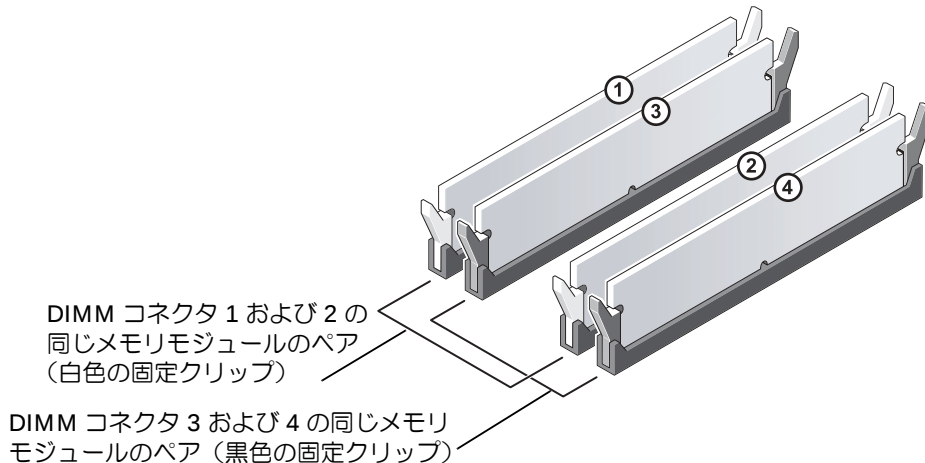
 **メモ：**必ずシステム基板に示される順序で DDR2 メモリモジュールを取り付けてください。

推奨されるメモリ構成は次のとおりです。

- DIMM コネクタ 1 および 2 に装着した同じメモリモジュールのペア（白色の固定クリップ）
または
- DIMM コネクタ 1 と 2 に装着した同じメモリモジュールの 1 組のペア、および DIMM コネクタ 3 と 4 に装着したもう 1 組のペア（黒色の固定クリップ）

 **注意：**ECC メモリモジュールは取り付けないでください。

- DDR2 400-MHz（PC2-3200）と DDR2 533-MHz（PC2-4300）のメモリモジュールのペアを組み合わせて装着した場合、装着したモジュールのうち一番遅いスピードで動作します。
- 別のコネクタにメモリモジュールを装着する前に、プロセッサに最も近いコネクタの DIMM コネクタ 1 に単一のメモリモジュールを装着していることを確認してください。



メモ：デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象になっています。



注意：メモリのアップグレード中にコンピュータから元のメモリを取り外した場合、新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになったとしても、元のメモリを新しいメモリとは別に保管してください。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。元のメモリモジュールと新しいものをペアにすると、コンピュータが正しく起動しないことがあります。元のメモリモジュールは、DIMM コネクタ 1 と 2、または DIMM コネクタ 3 と 4 のいずれかにペアで装着する必要があります。

4 GB 構成でのメモリアドレスリング

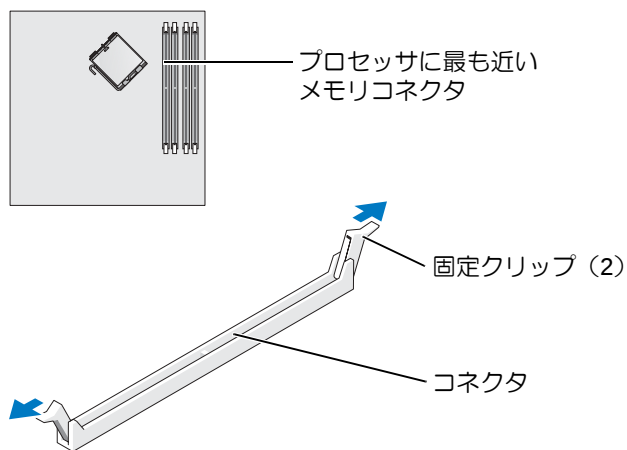
2-GB DIMM を 2 つ使用する場合には、お使いのコンピュータで最大 4 GB のメモリまで対応します。Microsoft® Windows® XP など、最新のオペレーティングシステムでは、アドレス空間を最大で 4 GB までしか使用することができません。ただし、オペレーティングシステムで利用可能なメモリ容量は、4 GB 弱です。コンピュータ内の一部の部品は、4 GB の範囲のアドレス空間を必要とします。このような部品に確保されるアドレス空間は、コンピュータメモリが使用することはできません。

メモリの取り付け

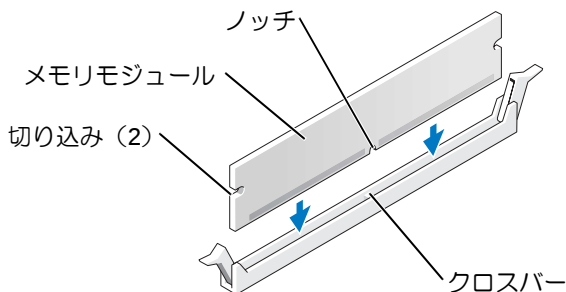
 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **注意：**コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。

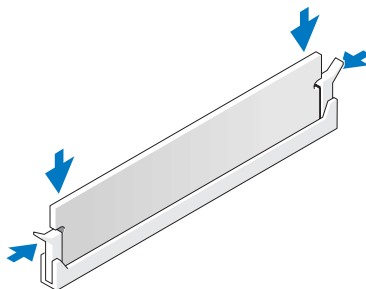


- 4 メモリモジュールの底部にあるノッチと、コネクタのクロスバーを合わせます。



 **注意：**メモリモジュールの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力をかけてコネクタにまっすぐ差し込んでください。

- 5 メモリモジュールを、カチッと所定の位置に収まるまでしっかりと押し込みます。
モジュールが正しく挿入されると、固定クリップはモジュール両端の切り欠きにカチッと収まります。



- 6 コンピュータカバーを取り付けます。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 8 **マイ コンピュータ** アイコンを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
- 9 **全般** タブをクリックします。
- 10 メモリが正しく取り付けられていることを確認するには、記載されているメモリ容量（RAM）を確認します。

メモリの取り外し

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

➡ **注意：**コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。
- 3 モジュールをつかんで引き上げます。

モジュールが取り外しにくい場合、モジュールを前後に慎重に動かして緩め、コネクタから取り外します。

カード

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **注意：**コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

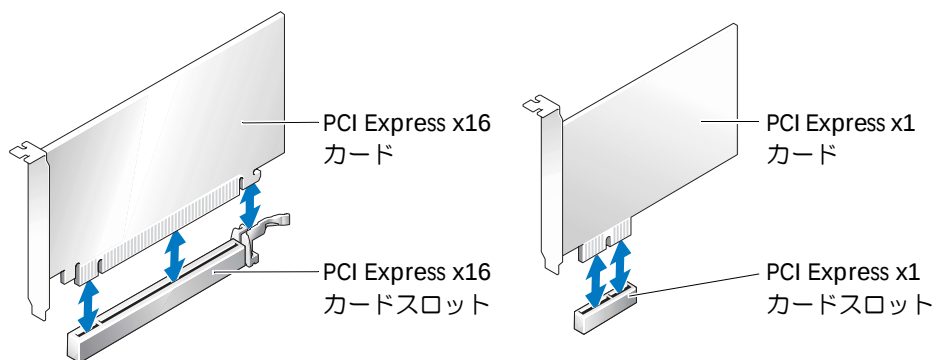
お使いの Dell™ コンピュータには、PCI Express カード用の以下のスロットが用意されています。

- PCI Express x16 カードスロット × 1
- PCI Express x1 カードスロット × 1

 **メモ：**PCI Express x16 および PCI Express x1 カードのスロットは、ハーフハイトのスロットです。

PCI Express カード

お使いのコンピュータは、PCI Express x16 カード 1 枚および PCI Express x1 カード 1 枚に対応しています。



PCI Express カードの取り付けや交換を行う場合には、次の項の手順に従います。カードの交換ではなく取り外しを行う場合は、77 ページの「PCI Express カードの取り外し」を参照してください。

カードを交換する場合は、現在使用しているカードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

PCI Express カードの取り付け

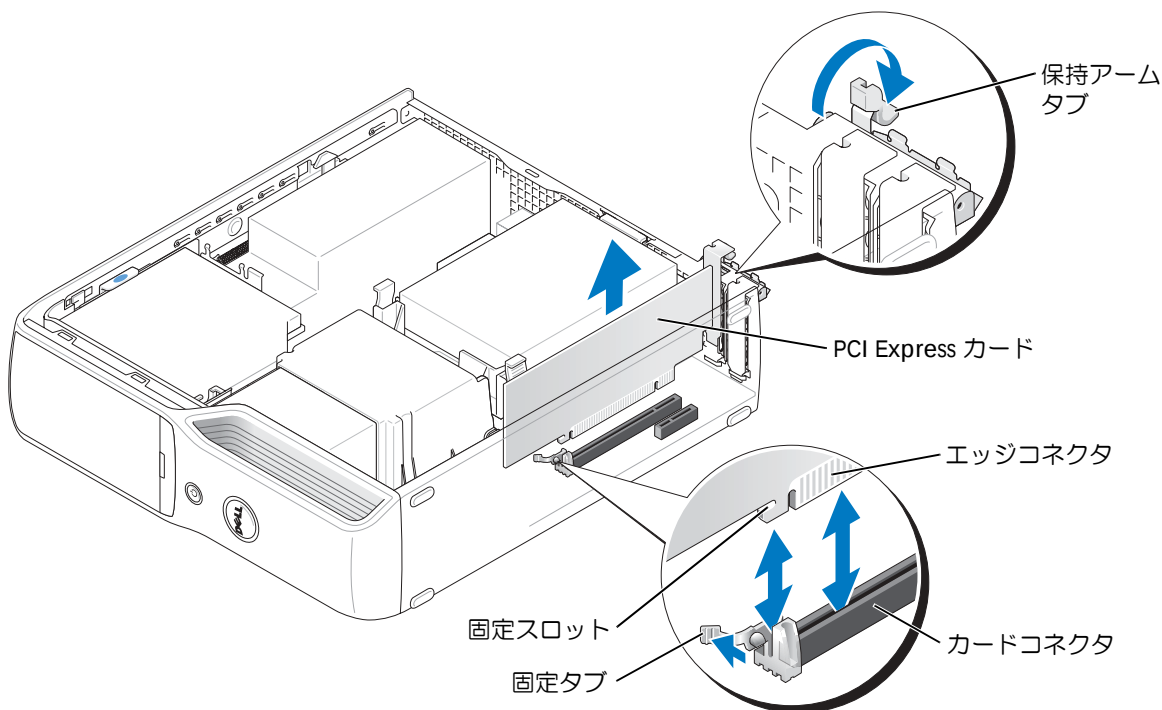
- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 カード保持ドアのリリースタブを内側から静かに押し、ドアを回転して開きます。ドアは取り付けられているため、開いた位置のままになります。
- 3 新しいカードを取り付ける場合は、フィラーブラケットを取り外して、カードスロット開口部を作ります。次にステップ 5 に進みます。
- 4 コンピュータに取り付けられたカードを交換する場合は、カードを取り外します。
必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。
- 5 取り付けるカードを準備します。

カードの構成、内部接続、またはお使いのコンピュータに合わせてカスタマイズする方法については、カードに付属のマニュアルを参照してください。



警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

- 6 カードをコネクタに置き、しっかりと押し下げます。カードが完全に装着されていることを確認します。



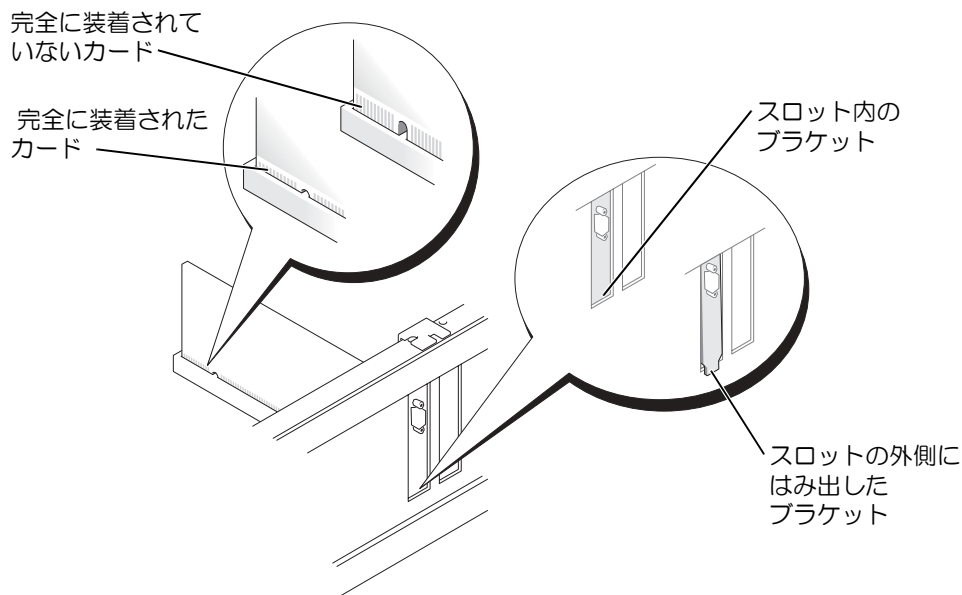
7 取り付けるカードを準備します。

カードの構成、内部接続、またはお使いのコンピュータに合わせてカスタマイズする方法については、カードに付属のマニュアルを参照してください。



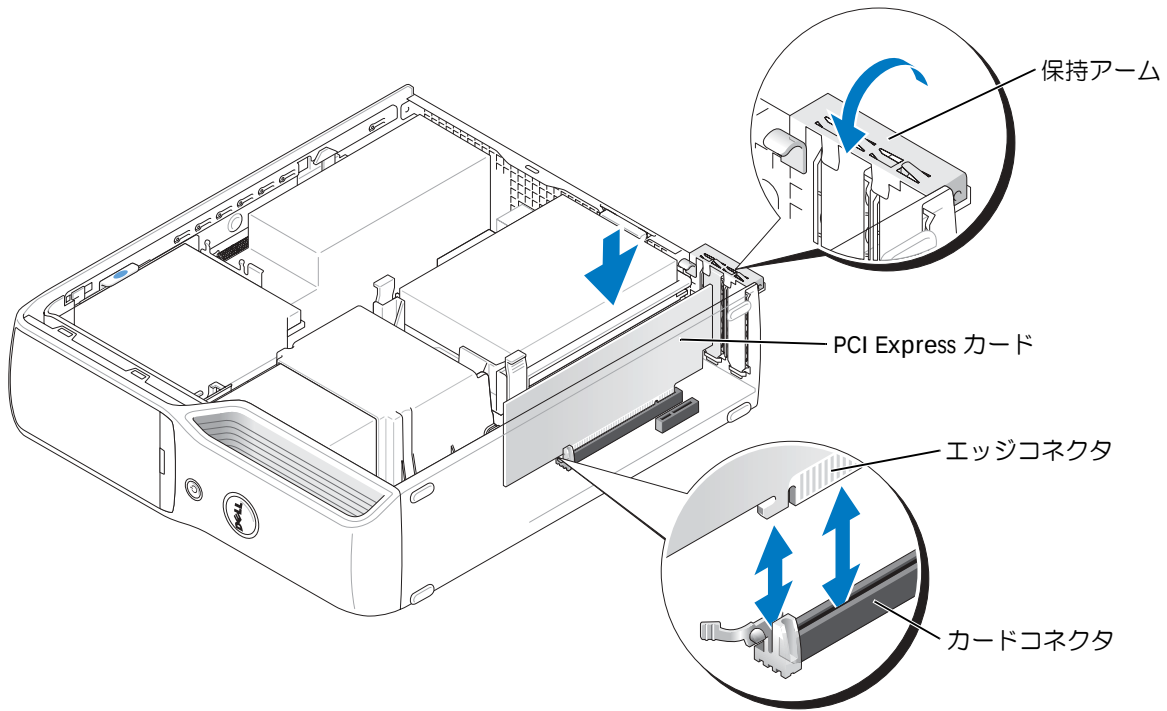
警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

- 8 x16 カードコネクタにカードを取り付ける場合は、固定スロットが固定タブに合うようにしてカードを置き、固定タブを軽く引っ張ります。
- 9 カードをコネクタに置き、しっかりと押し下げます。カードが完全に装着されていることを確認します。



- 10 カード保持ドアを閉じる前に、次のことを確認してください。
- すべてのカードとフィラーブラケットの上端が、位置合わせバーと揃っている。
 - カードまたはフィラーブラケット上端のノッチが、位置合わせガイドとかみ合っている。

- 11 カチッと音がする位置までカードを挿入し、カード保持ドアを閉じます。



➡ **注意：**カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。カードの上を通してケーブルを配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなかったり、装置が損傷する原因になります。

- 12 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。

カードのケーブル接続については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

- 13 コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

- 14 カードのマニュアルに記載されている、カードに必要なドライバをインストールします。

PCI Express カードの取り外し

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。
- 3 固定タブを軽く引っ張り、カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。
- 4 カードを取り外したままにする場合は、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。

フィラーブラケットが必要な場合は、デルにお問い合わせください（120 ページを参照してください）。



メモ：コンピュータの FCC 認証を満たすため、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。

- 5 コンピュータにカードを固定します。



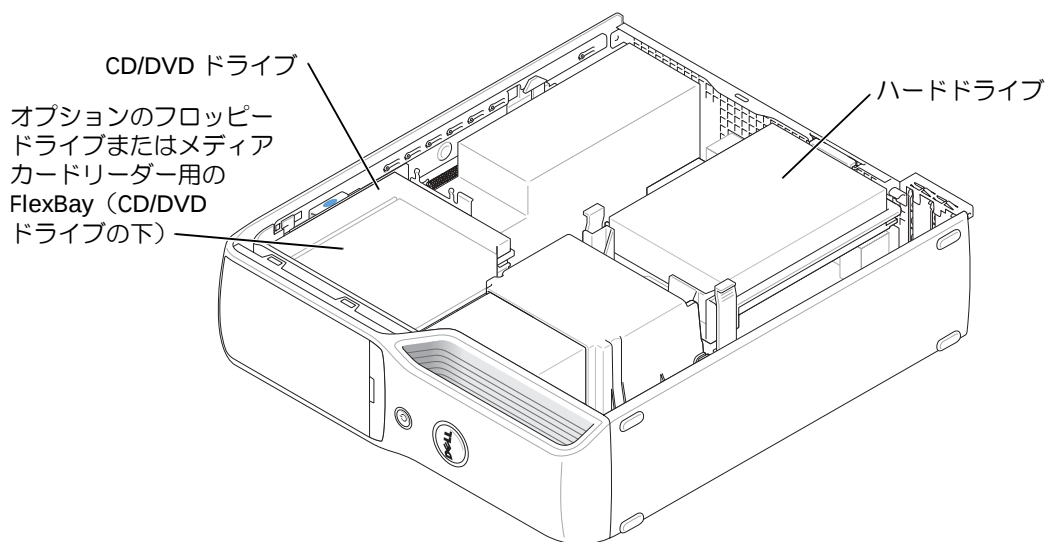
注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

- 6 コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 7 カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。
- 8 カードのマニュアルに記載されている、カードに必要なドライバをインストールします。

ドライブ

このコンピュータでは、次のデバイスの組み合わせをサポートしています。

- シリアル ATA ドライブ 1 台
- FlexBay ドライブ 1 台（オプションのフロッピードライブまたはメディアカードリーダー）
- CD または DVD ドライブ 1 台



システム基板上の「IDE」とラベルの付いたコネクタに CD/DVD ドライブを接続します。シリアル ATA ハードドライブは、システム基板上の「SATA0」または「SATA2」とラベルの付いたコネクタに接続します。

ドライブケーブルの接続

ドライブを取り付ける場合、2 本のケーブル（DC 電源ケーブルとデータケーブル）をドライブの背面およびシステム基板に接続します。

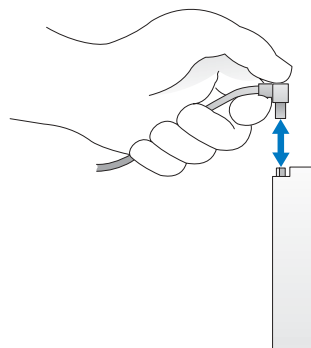
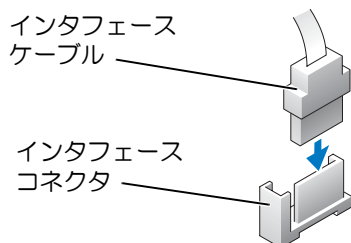
ドライブインタフェースコネクタ

ほとんどのインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。シリアル ATA ケーブルはコネクタの 1 番ピン側に接続します。- 通常、基板上またはカード上にあるコネクタの 1 番ピン側には、基板またはカードに直接「1」と印字されています。



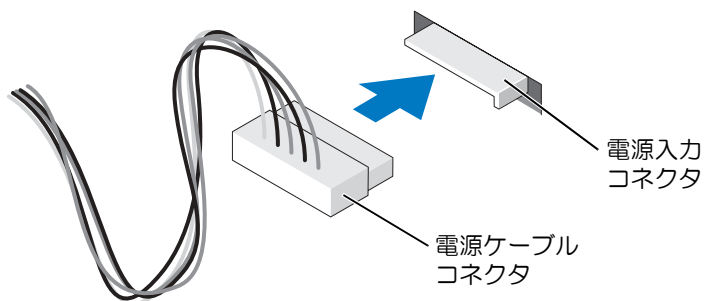
注意：IDE インタフェースケーブルを接続するときには、必ず色帯をコネクタの 1 番ピンに合わせてください。ケーブルを逆向きにすると、ドライブが正しく動作しなくなり、コントローラ、ドライブまたはその両方が損傷する恐れがあります。

シリアル ATA コネクタ



電源ケーブルコネクタ

電源ケーブルを使用してドライブを接続するには、システム基盤で電源入力コネクタを探します。

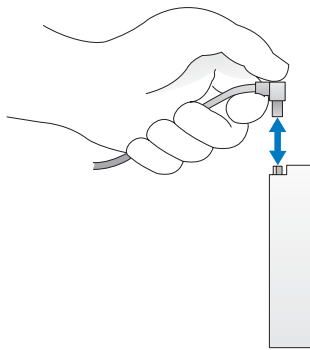


ドライブケーブルの接続と取り外し

IDE ドライブデータケーブルを取り外す場合は、色付きのプルタブをつかみ、引き抜いてコネクタから外します。

シリアル ATA データケーブルの抜き差しをおこなう場合は、ケーブルの両端にある黒いコネクタ部分を持ちます。

IDE コネクタと同様、シリアル ATA インタフェースコネクタも、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。



ハードドライブ

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

 **注意：**ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

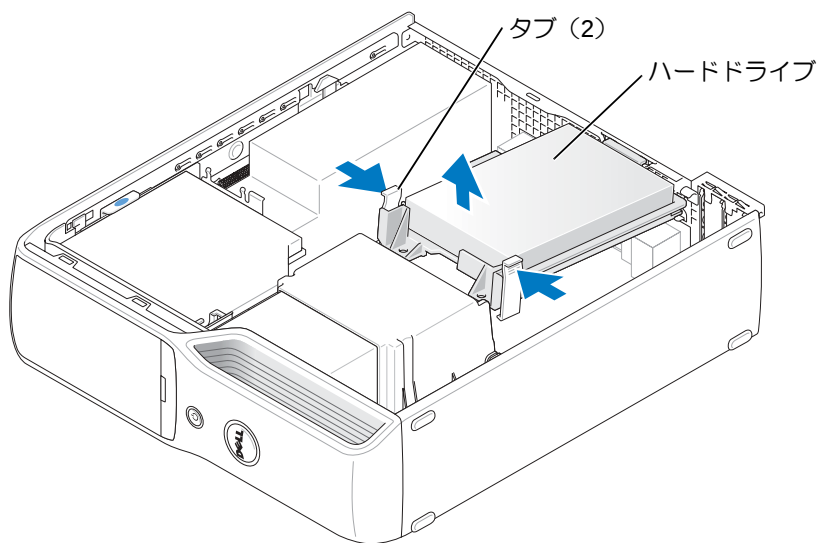
 **注意：**残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。

ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。

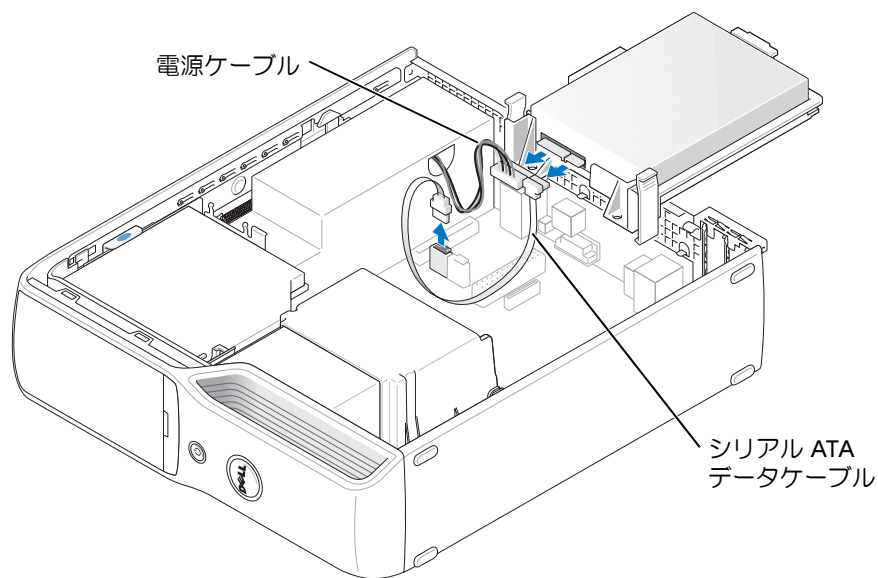
ハードドライブの取り外し

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。

- 4 ドライブの側面にある青色のタブを内側に押しながら、ドライブを上方向にスライドさせてコンピュータから取り外します。



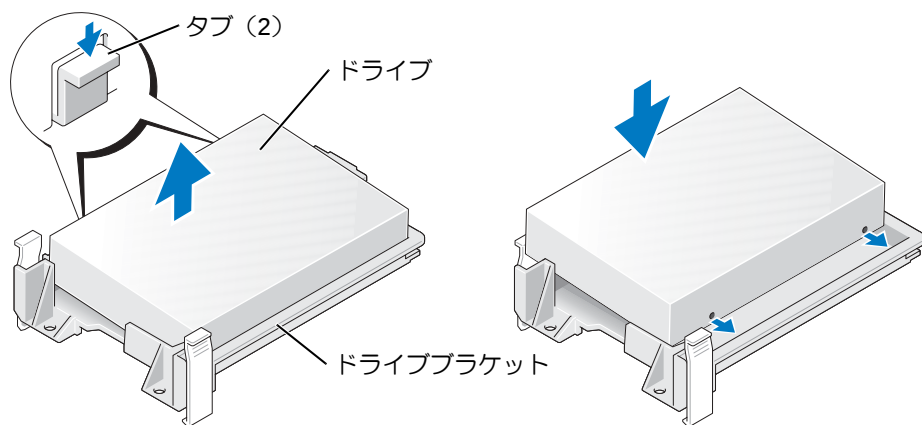
- 5 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブから取り外します。



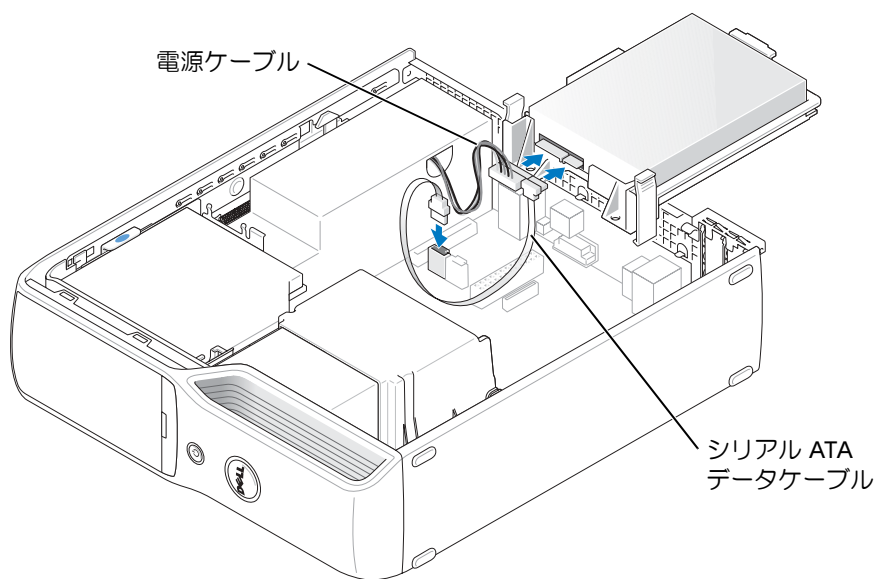
ハードドライブの取り付け

- 1 交換用のハードドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。
- 2 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。

 **メモ：** 交換用のハードドライブにプラスチックのガイドブラケットが付いていない場合は、古いドライブからブラケットを取り外します。そのブラケットを新しいドライブにカチッとはめ込みます。

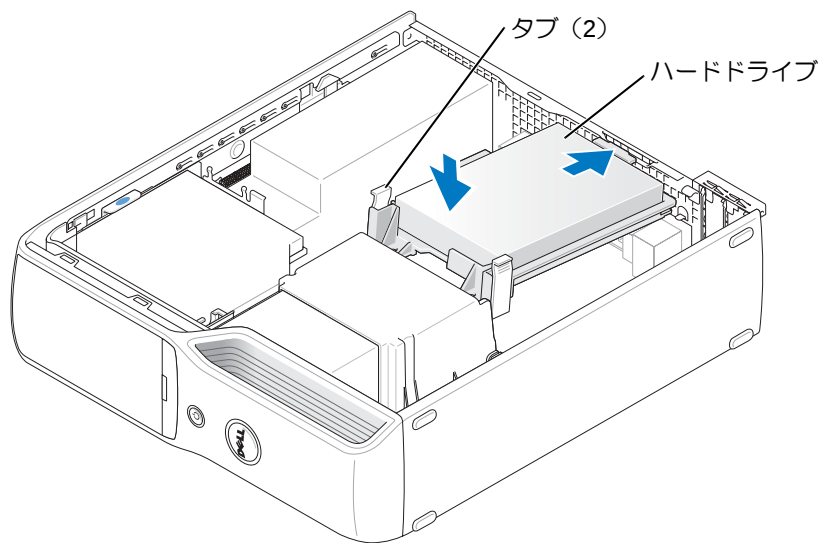


- 3 電源ケーブルとハードドライブケーブルをドライブに接続します。



- 4 すべてのコネクタにケーブルが正しく接続され、ドライブがしっかりと固定されているか確認します。

- 5 ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。



- 6 コンピュータカバーを取り付けます 101 ページ。
- ➡ **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

CD/DVD ドライブ

 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

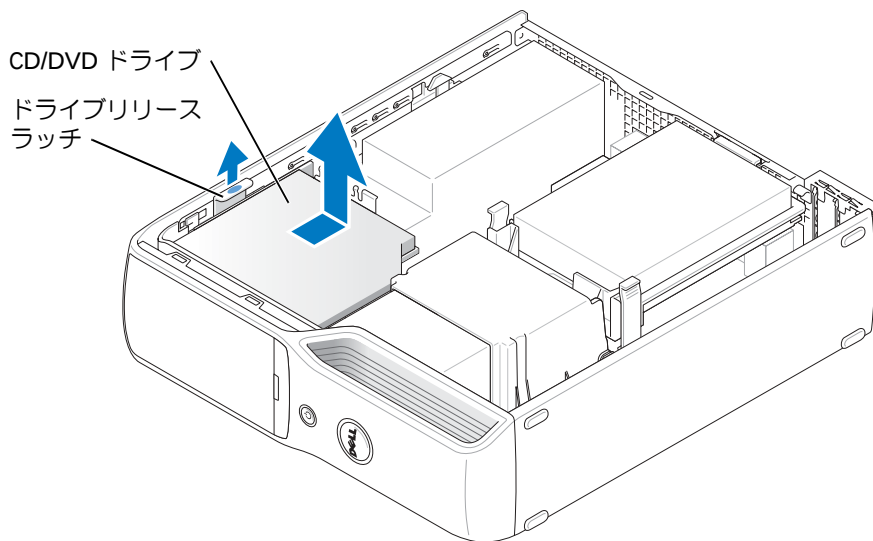
CD/DVD ドライブの取り外し

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。

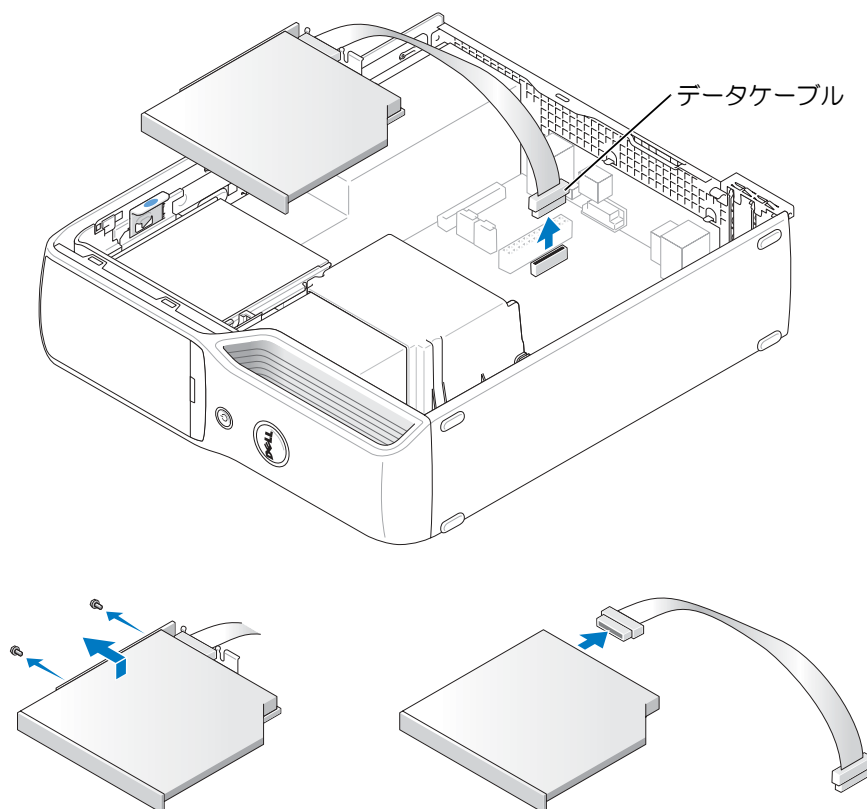


注意：ドライブをコンピュータから取り外すときにドライブケーブルを持たないでください。ドライブケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタが損傷する場合があります。

- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。
- 4 ドライブリリースラッチを引き上げ、ドライブをコンピュータの背面へスライドします。次に、ドライブを持ち上げてコンピュータから取り外します。

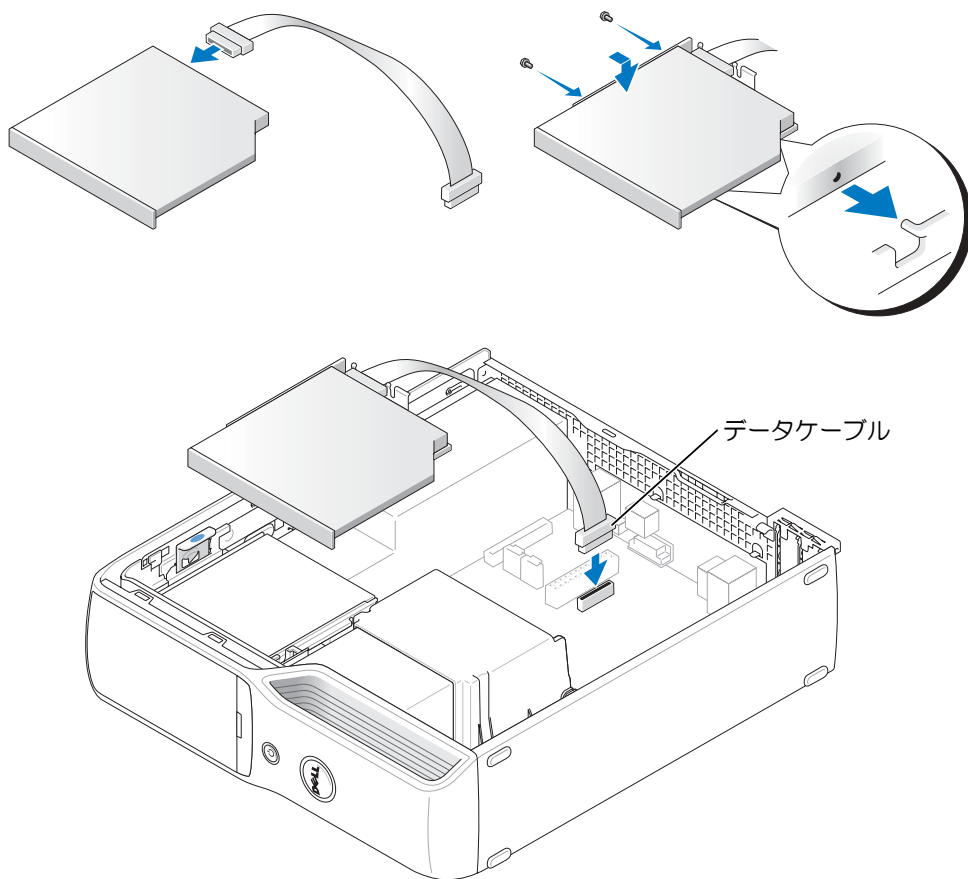


- 5 ドライブの背面から、電源ケーブルと CD/DVD ドライブケーブルを取り外します。

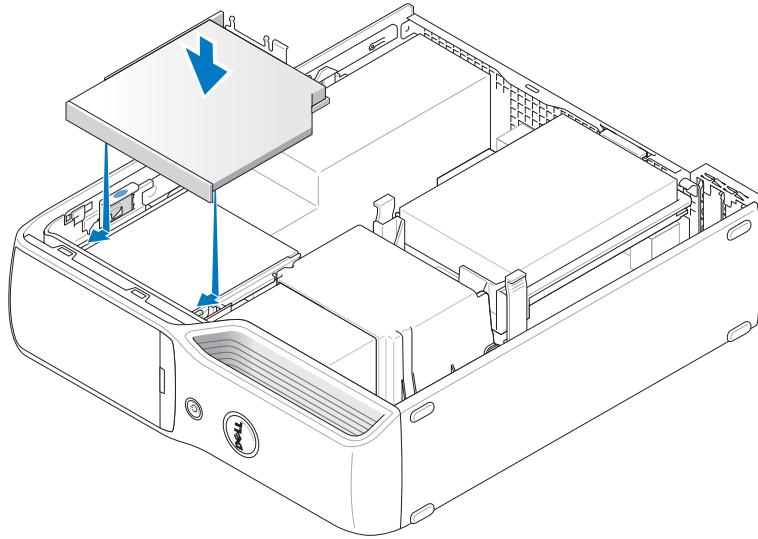


CD/DVD ドライブの取り付け

- 1 ドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。
ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っているか確認します。IDE ドライブを取り付ける場合、ドライブを「cable select」に設定します。
- 2 電源ケーブルと CD/DVD ドライブケーブルをドライブに接続します。



- 3 ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。



- 4 すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 5 コンピュータカバーを取り付けます。
- 6 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 7 ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 8 セットアップユーティリティを起動し（107 ページを参照してください）、該当する **Drive（ドライブ）** オプションを選択します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します（51 ページを参照してください）。

メディアカードリーダー

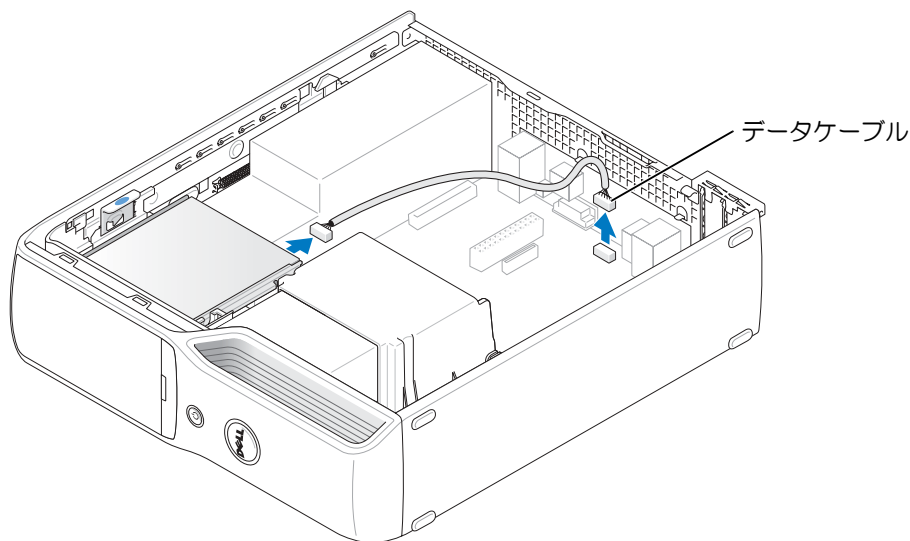
メディアカードリーダーの使用については、15 ページの「メディアカードリーダーの使用（オプション）」を参照してください。

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

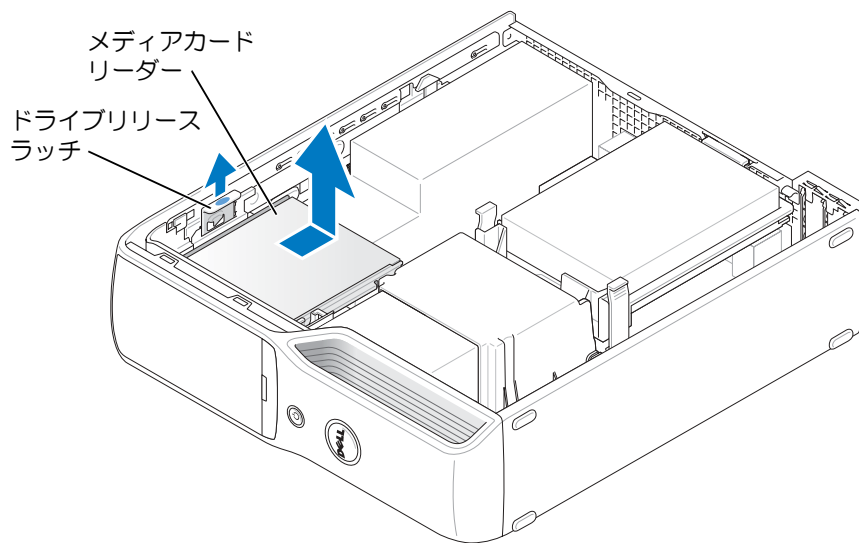
 **注意：**コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

メディアカードリーダーの取り外し

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。
- 4 CD/DVD ドライブを取り外します（85 ページを参照してください）。
- 5 システム基板の正面パネルコネクタから、メディアカードリーダーの背面にあるデータケーブルを取り外します。

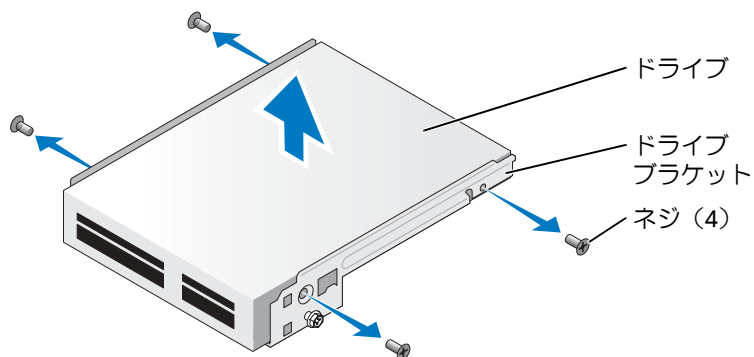


- 6 ドライブリリースラッチを引き上げ、メディアカードリーダーをコンピュータの背面へスライドします。次に、ドライブを持ち上げてコンピュータから取り外します。

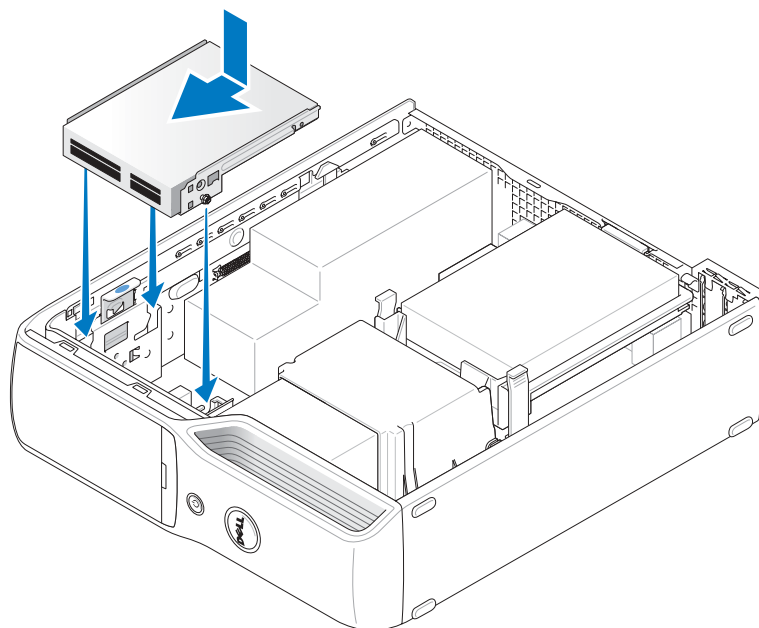


メディアカードリーダーの取り付け

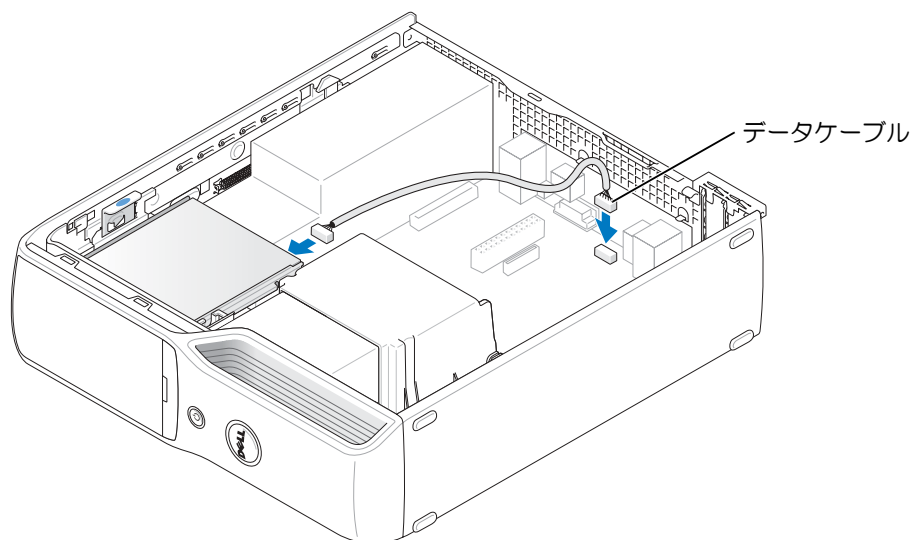
- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。
- 4 パッケージからメディアカードリーダーを取り出し、すべてのネジが揃っていることを確認します。



- 5 ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。



- 6 メディアカードリーダーの背面にあるデータケーブルをシステム基板の正面パネルコネクタへ再び接続します。



- 7 CD/DVD ドライブを取り付けます（85 ページを参照してください）。
- 8 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照してください）。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 9 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 10 セットアップユーティリティを起動し（107 ページを参照してください）、該当する **Drive（ドライブ）** オプションを選択します。
- 11 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します（51 ページを参照してください）。

フロッピードライブ（オプション）

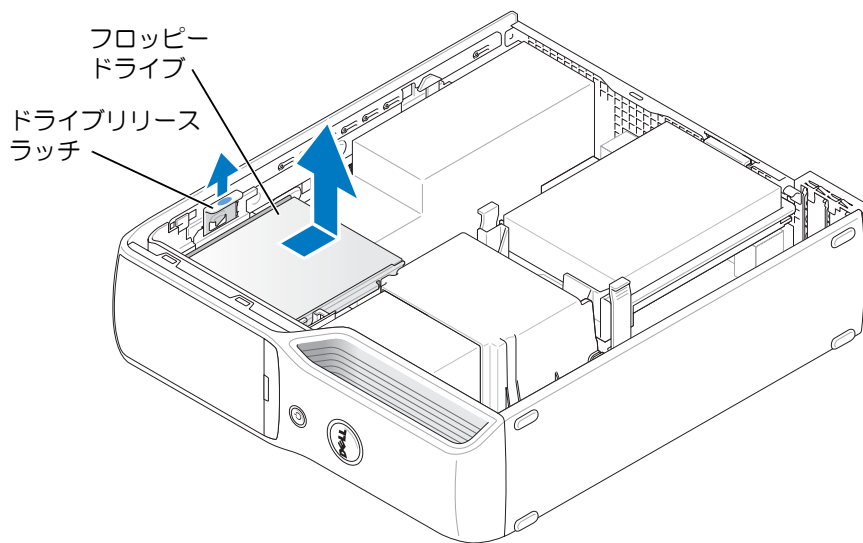
 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に、必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

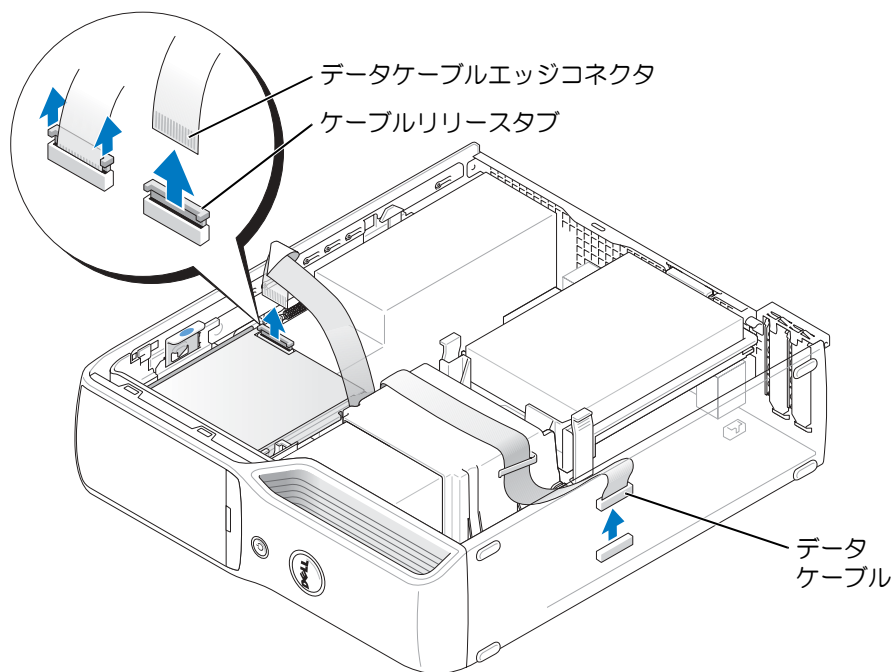
フロッピードライブの取り外し

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。
- 4 CD/DVD ドライブを取り外します（85 ページを参照してください）。

- 5 ドライブリリースラッチを引き上げ、フロッピードライブをコンピュータの背面へスライドします。次に、持ち上げてドライブをコンピュータから取り外します。

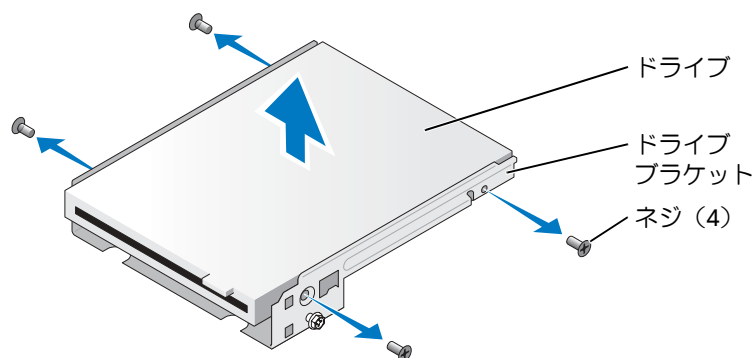


- 6 フロッピードライブの背面から、電源ケーブルとデータケーブルを取り外します。

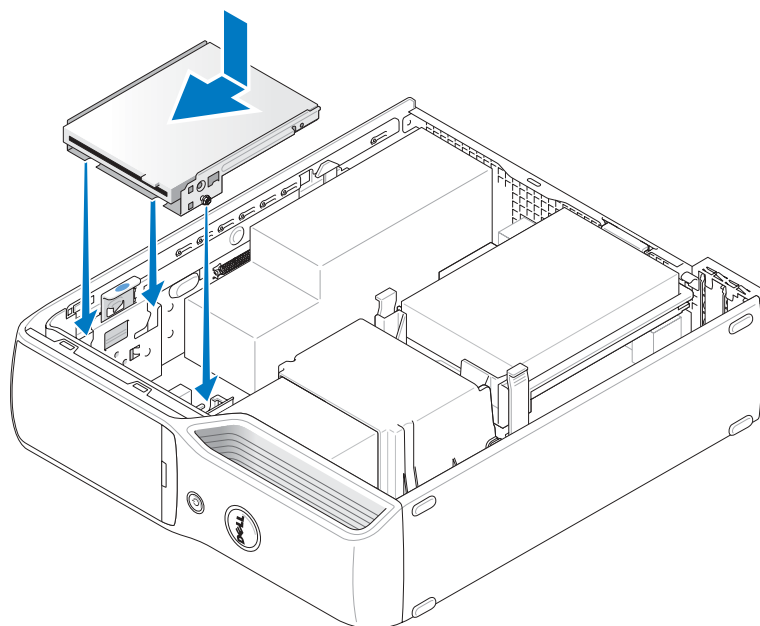


フロッピードライブの取り付け

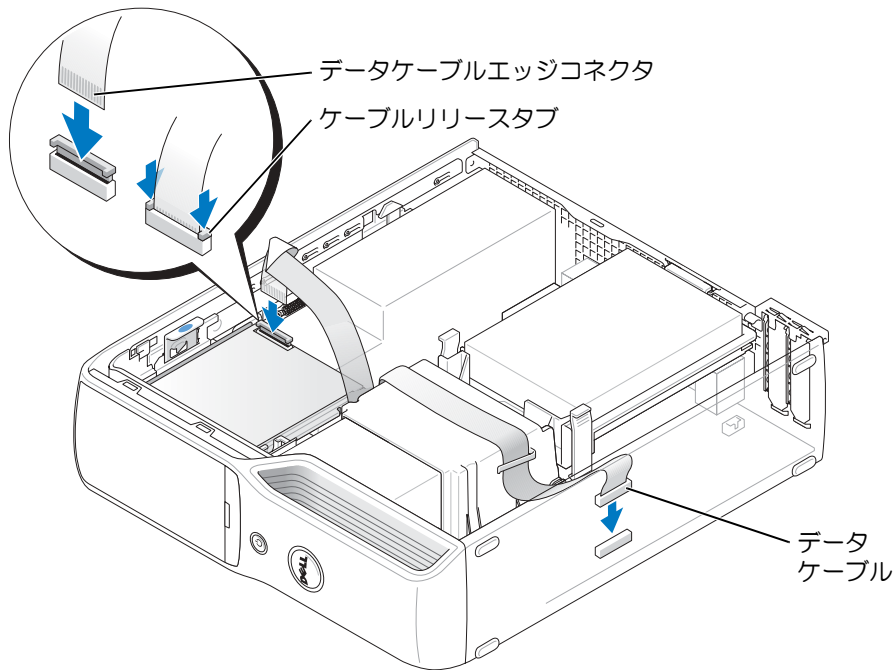
 **メモ：**交換品または新しいフロッピードライブに肩付きネジがない場合は、ドライブパネル挿入部内にあるネジを使用します。



- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 3 コンピュータカバーを取り外します (65 ページを参照してください)。
- 4 ドライブが所定の位置に、カチッと音がするまで、または固定されたとわかるまで、ドライブをゆっくり押し込みます。



- 5 電源ケーブルとデータケーブルをフロッピードライブに接続します。



- 6 すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 7 CD/DVD ドライブを取り付けます (85 ページを参照してください)。
- 8 コンピュータカバーを取り付けます (101 ページを参照してください)。
- ⑨ **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 9 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 10 セットアップユーティリティを起動し (107 ページを参照してください)、該当する **Diskette Drive (ディスケットドライブ)** オプションを選択します。
- 11 Dell Diagnostics (診断) プログラム を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します (51 ページを参照してください)。

Modem（モデム）

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

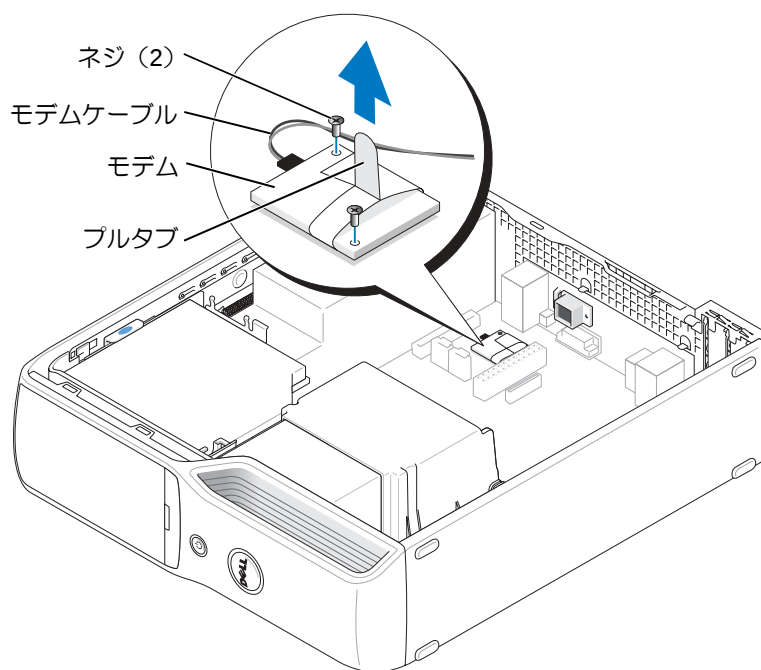
 **注意：**モデムを取り外したり装着したりする前に、コンピュータからすべての電話ケーブルおよびネットワークケーブルを抜いてください。

 **注意：**コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

モデムの交換

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。

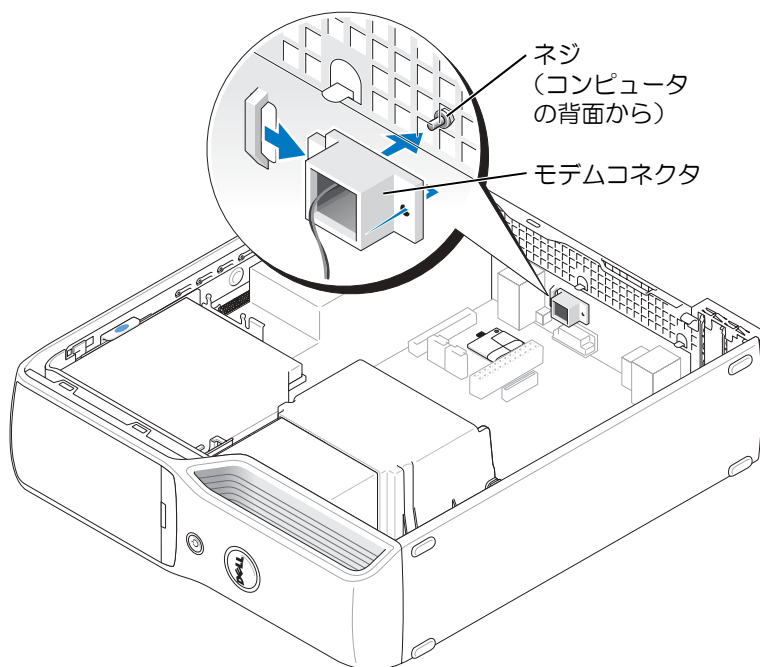
 **メモ：**モデムを交換しやすくするために、場合により電源から電源ケーブルを取り外す必要があります。



- 3 既存のモデムを取り外します。
 - a モデムからモデムケーブルを取り外します。
 - b 小さなプラスドライバを使用して、モデムをシステム基板に固定している 2 つのネジを取り外し、ネジを保管します。
 - c 付いているプルタブをまっすぐ上に引き上げて、システム基板のコネクタからモデムを取り外します。
-  **注意：**コネクタは正しく挿入できるように調整されています。引っかかりを感じる場合は、コネクタを調べ、カードを再配置してください。
- 4 新しいモデムを取り付けます。
 - a モデムをネジ穴に合わせ、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。
 - b プラスのドライバを使用して、モデムをシステム基板に固定している 2 つのネジを交換し、締めます。
 - c モデムケーブルをモデムに接続します。
- 5 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照してください）。

外部モデムコネクタの交換

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
- 2 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。
- 3 モデムからモデムケーブルを抜きます。
- 4 外部モデムコネクタを取り外します。
 - a 外部モデムコネクタを固定しているネジを取り外します。
 - b モデムコネクタを固定しているスロットから外部モデムコネクタをスライドします。
 - c コンピュータからモデムケーブルとコネクタを取り外します。



- 5 新しいモデムケーブルと外部モデムコネクタを取り付けるには、次の手順を実行します。
 - a 外部コネクタをコンピュータの背面にあるスロットに合わせます。
 - b 外部モデムコネクタを固定しているネジを取り外します。
 - c ケーブルワイヤを注意深く配線し、モデムケーブルをモデムに再接続します。
- 6 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照してください）。

バッテリー

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **注意：**コンピュータ内部の部品への静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時間の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年です。コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時間と日付の情報をリセットする必要がある場合は、バッテリーを交換します。

 **警告：**新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもものと交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

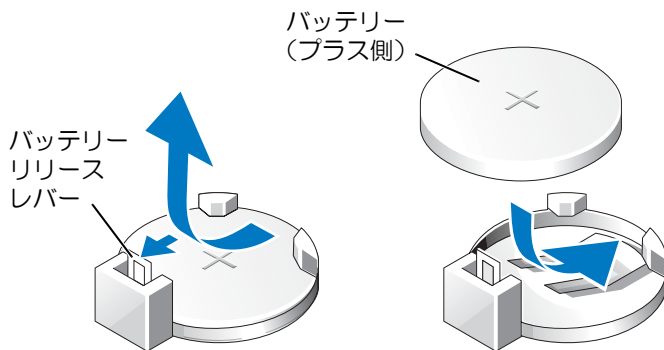
バッテリーの交換

 **メモ：**コイン型バッテリーの種類については、106 ページの「電源」を参照してください。

- 1 ステップ 9 で正しい設定に戻すことができるように、セットアップユーティリティ画面をすべて記録します（107 ページを参照してください）。
- 2 「59 ページの「再インストールする前に」」の手順に従います。
- 3 コンピュータカバーを取り外します（65 ページを参照してください）。
- 4 バッテリーソケットを探します（68 ページを参照してください）。

 **注意：**先のとがっていない物体でバッテリーをソケットから取り出す場合は、その物体でシステム基板を触らないように注意してください。バッテリーを取り出す前に、物体がバッテリーとソケットの間に挿入されていることを確認してください。確認しないと、ソケットをこじ開けたり、システム基板の回路トレースを壊したりして、システム基板を損傷する恐れがあります。

- 5 システムバッテリーを取り外します。
 - a コネクタのプラス側をしっかりと下に押してバッテリーコネクタを支えます。
 - b バッテリーコネクタを支えながら、バッテリーをコネクタのプラス側に押し、コネクタのマイナス側の固定タブから取り出します。



 **注意：**バッテリーコネクタの損傷を防ぐため、バッテリーの取り付けや取り外しを行う間は、コネクタをしっかりと支える必要があります。

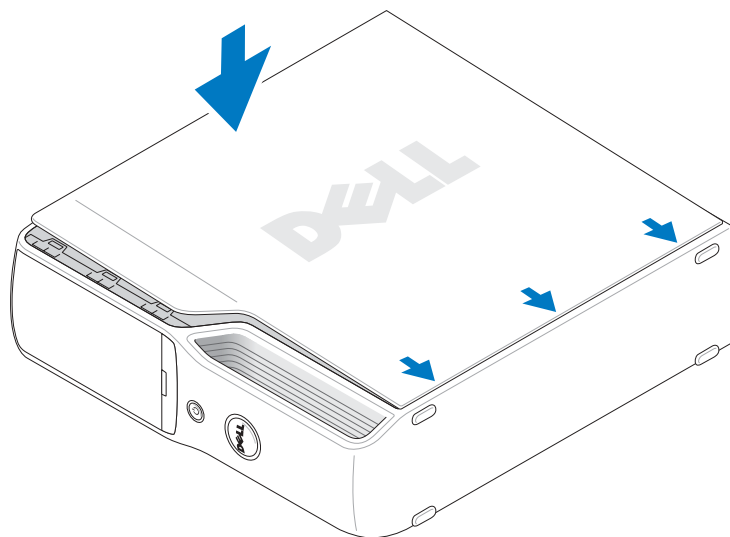
- 6 新しいシステムバッテリーを取り付けます。
 - a コネクタのプラス側をしっかりと下に押してバッテリーコネクタを支えます。
 - b プラス側を上にしてバッテリーを持ち、コネクタのプラス側にある固定タブの下にスライドさせます。
 - c 所定の位置にカチッと収まるまでバッテリーをコネクタに押し込みます。

- 7 コンピュータカバーを取り付けます（101 ページを参照してください）。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 8 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 9 セットアップユーティリティを起動（107 ページを参照してください）して、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 10 古いバッテリーは適切に廃棄します。バッテリーの廃棄に関しては、『製品情報ガイド』を参照してください。

コンピュータカバーの取り付け

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 すべてのケーブルがしっかりと接続され、ケーブルが邪魔にならない場所に束ねられているか確認します。
電源ケーブルを軽く自分の方に引っ張り、ドライブの下にはさまらないようにします。
- 2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないか確認します。
- 3 カバーを装着するには、次の手順を実行します。
 - a カバーの底部をコンピュータの端底部にあるタブに合わせます。
 - b タブをてこにして、カバーを下に回転します。



- c カバーリリースラッチを引き抜いてカバーをカチッと音がする場所にはめ込み、カバーを適切に装着したらラッチを放します。
 - d コンピュータをまっすぐ立てる前に、カバーが正しく装着されていることを確認します。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 4 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

補足事項

仕様

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Pentium® 4 5XX プロセッサ (ハイパースレッディングテクノロジー搭載) Intel Celeron® D プロセッサ
L1 (レベル 1) キャッシュ	16 KB
L2 (レベル 2) キャッシュ	Pentium 4 の場合、1 MB Celeron の場合、256 KB (コンピュータの構成に応じて) パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエティブ、ライトバック SRAM
メモリ	
タイプ	400 MHz および 533 MHz DDR2 アンバッファ SDRAM
メモリコネクタ	4
メモリ容量	256 MB、512 MB、1 GB、または 2-GB 非 ECC
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	4 GB メモ： オペレーティングシステムで利用可能なメモリのサイズを確認する方法については、70 ページの「4 GB 構成でのメモリアドレッシング」を参照してください。
BIOS アドレス	F0000h
コンピュータ情報	
チップセット	Intel 945G Express チップセット
DMA チャンネル	8
割り込みレベル	24
BIOS チップ (NVRAM)	4 MB
NIC	10/100 Mbps の通信が可能なオンボード NIC

コンピュータ情報（続く）	
システムクロック	800 MHz データレート
ビデオ	
タイプ	Intel integrated Graphics Media Accelerator (GMA) 950
オーディオ	
タイプ	Sigmatel STAC9220
拡張バス	
バスのタイプ	PCI Express x1 および x16
バス処理速度	PCI Express : x1 スロット双方向速度 : 500 MB/s x16 スロット双方向速度 : 8 GB/sec
PCI Express :	
コネクタ	x1 × 1
コネクタのサイズ	36 ピン
コネクタのデータ幅（最大）	PCI Express レーン × 1
PCI Express :	
コネクタ	x16 × 1
コネクタのサイズ	164 ピン
コネクタのデータ幅（最大）	PCI Express レーン × 16
ドライブ	
外部アクセス可能	3.5 インチのスリムラインメディアベイ × 1 5.25 インチのスリムラインドライブベイ × 1
利用可能なデバイス	シリアル ATA ドライブ、USB メモリデバイス、CD ドライブ、DVD ドライブ、DVD+RW ドライブ、DVD/CD-RW コンボドライブ、DVD+/-RW、およびメディアカードリーダー
内部アクセス可能	1 インチ高のハードドライブ × 1

コネクタ

外付けコネクタ：

シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換
IEEE 1394	6 ピンパワー背面パネルコネクタ × 1 (一部のコンピュータのみ) 6 ピンパワー正面パネルコネクタ × 1 (メディアカードリーダーはオプション)
Video (ビデオ)	15 ピン D-SUB コネクタ (メス)
USB	USB 2.0 準拠コネクタ × 7 (正面パネルに 2 つ、背面パネルに 5 つ)
ヘッドフォン オーディオ	正面パネルミニコネクタ (ライン出力用) 5 つのコネクタ (ライン入力、ライン出力、マイク、 サラウンドサウンド、センター / LFE チャンネル) S/PDIF 背面 パネルコネクタ (S/PDIF コネクタは一部のコンピュータのみ)
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ
Modem (モデム)	RJ11 (MDC 1.5) コネクタ

システム基板コネクタ：

IDE ドライブ	40 ピンコネクタ × 1
シリアル ATA	7 ピンコネクタ × 1
ファン	5 ピンコネクタ × 1
PCI Express x1	36 ピンコネクタ
PCI Express x16	164 ピンコネクタ
USB	オプションのメディアカードリーダー用 8 ピンヘッダー (3.5 インチベイデバイス)
MDC	12 ピンコネクタ × 1
正面パネルオーディオ	10 ピンコネクタ × 1
正面パネル	34 ピンコネクタ × 1
電源	2 x 10 コネクタ × 1
プロセッサ電源	2 x 2 コネクタ × 1
IEEE 1394	オプションのメディアカードリーダー用 2 x 5 ヘッダー x 1 (3.5 インチベイデバイス)

ボタンとライト	
電源ボタン	押しボタン
電源ライト	緑色のライト — 緑色の点滅はスリープ状態です。緑色の点灯は電源投入状態です。 黄色のライト — 黄色の点滅は取り付けられているデバイスに問題が発生していることを示します。黄色の点灯は内部電源の問題を示します（40 ページの「電源の問題」を参照）。
ハードドライブライト	緑色
リンク保全ライト （内蔵ネットワークアダプタ上）	緑色のライト — 10 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 橙色のライト — 100 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されていることを示します。 オフ（点灯なし） — ネットワークとの物理的な接続が検知されていません。
動作ライト （内蔵ネットワークアダプタ上）	黄色の点滅ライト
診断ライト	背面パネルのライト x 4（診断ライトのコードについては 47 ページの「診断ライト」を参照）
スタンバイ電源ライト	システム基板上の AUX_PWR
アクティビティライト（メディアカードリーダーはオプション）	緑色の点滅ライト

電源	
DC 電源装置：	
ワット数	270 W
熱散逸	460.7 BTU / 時（486 kJ / 時）
電圧（電圧設定に関する重要な情報については『製品情報ガイド』の「安全にお使いいただくために」を参照）	固定電圧電源 — 110 V、50 / 60 Hz 手動選択および自動検出電源 — 50 / 60 Hz で 90 ~ 135 V、50 / 60 Hz で 180 ~ 265 V、50 / 60 Hz で 100 V（日本国内向けコンピュータの場合）
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウム電池

サイズと重量	
高さ	31 cm (12.2 インチ)
幅	9.1 cm (3.6 インチ)
奥行	36.3 cm (14.3 インチ)
重量	7.4 kg (16.4 ポンド)
環境	
温度：	
動作時	10 ° ～ 35 °C メモ：35 °C で、最大動作高度は 914 m です。
保管時	–40 ° ～ 65 °C
相対湿度	20 ～ 80 % (結露しないこと)
最大震動：	
動作時	0.25 G (3 ～ 200 Hz、0.5 octave / 分)
保管時	0.5 G (3 ～ 200 Hz、1 octave / 分)
最大耐久衝撃：	
動作時	ボトムハーフサインパルス (50.8 cm / 秒の速度変化)
保管時	27 G フェアードスクエアウェーブ (508 cm / 秒の速度変化)
高度：	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m

セットアップユーティリティ

概要

セットアップユーティリティ は次の場合に使用します。

- コンピュータに対してハードウェアの取り付け、変更、取り外しを行った後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどの、ユーザーが選択可能なオプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、システム設定画面の情報を控えておくことをお勧めします。

 **注意：** コンピュータの操作に詳しい方以外は、このプログラムの設定を変更しないことをお勧めします。変更内容によっては、コンピュータが正しく動作しないことがあります。

セットアップユーティリティの起動

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青い DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして、操作をやり直してください（59 ページを参照してください）。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面には、お使いのコンピュータの現在の（または変更可能な）設定情報が表示されます。画面の情報は、以下の 3 つの領域に分割されています。オプションのリスト、アクティブなオプションのフィールド、キー操作。

Options List（オプションリスト） — このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドは、スクロール付きのボックスで、お使いのコンピュータの設定（搭載しているハードウェア、省電力、およびセキュリティ機能など）を示す機能を一覧表示します。 上下の矢印キーで、リストを上下にスクロールしてください。オプションをハイライト表示すると、Option Field（オプションフィールド） にオプションの詳細、現在の設定、および利用可能な設定が表示されます。 各メインオプションフィールドを展開したり折りたたむには、<Enter> を押します。	Option Field（オプションフィールド） — このフィールドには、各オプションの説明が表示されます。このフィールドでは、現在の設定を表示したり設定を変更できます。 左右の矢印キーを使用して、オプションをハイライト表示します。選択をアクティブにするには、<Enter> を押します。
	Key Functions（キー操作） — このフィールドは Option Field（オプションフィールド） の下に表示され、キーに割り当てられた機能をアクティブなセットアップユーティリティフィールド内に一覧表示します。

セットアップオプション



メモ：コンピュータや BIOS のバージョン、取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示されている項目が表示されなかったり、記載どおりに表示されないことがあります。

システム	
System Info (システム情報)	コンピュータ名、BIOS のバージョン番号と日付、システムタグ、その他のシステム固有情報などのシステム情報を表示します。
CPU Info (CPU 情報)	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングをサポートしているかどうかを識別し、プロセッサバス速度、プロセッサ ID、クロック速度、および L2 キャッシュを一覧表示します。
Memory Info (メモリ情報)	搭載メモリのサイズ、メモリ速度、チャンネルモード（デュアルまたはシングル）、および搭載メモリのタイプを表示します。
Date/Time (日付 / 時刻)	現在の日付と時刻の設定を表示します。
起動順序	この一覧で指定されたデバイス順序に従って、コンピュータを起動します。 メモ： 起動デバイスを挿入してコンピュータを再起動すると、このオプションがセットアップユーティリティメニューに表示されます。USB メモリデバイスから起動するには、USB デバイスを選択して、一覧の先頭に移動します。
ドライブ	
Diskette Drive (ディスクドライブ)	システム基板の FLOPPY コネクタに接続されたフロッピードライブを識別して定義します。定義の種類は、 Off (オフ) 、 USB 、 Internal (内蔵) または Read Only (読み取り専用) です。
Drives 0 through 1 (ドライブ 0 ~ 1)	システム基板の SATA または PRI IDE コネクタに接続されたドライブを識別し、ハードドライブの容量を一覧表示します。
SATA Operation (SATA 動作)	SATA モードを識別して定義します。SATA コントローラは、 Normal (標準) または Combo (コンボ) モードに設定できます。
Onboard Devices (オンボードデバイス)	
NIC Controller (NIC コントローラ)	NIC は On (オン) (デフォルト)、 Off (オフ) 、または On w/ PXE に設定できます。 On w/ PXE 設定がアクティブな場合は（以降の起動プロセスのみで有効）、<Ctrl><Alt> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバからの起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバから使用できない場合、コンピュータは起動順序リスト内の次のデバイスからの起動を試みます。
1394 Controller (1394 コントローラ)	IEEE 1394 接続の有効 / 無効を切り替えます。

Card Reader (カードリーダー)	オプションのメディアカードリーダーの有効 / 無効を切り替えます。
Audio Controller (オーディオコントローラ)	オンボードオーディオコントローラの有効 / 無効を切り替えます。
USB Controller (USB コントローラ)	On (オン) (デフォルト) に設定すると、オペレーティングシステムで USB デバイスが検出されてサポートされます。 No Boot (起動なし) オプションをオンにすると、USB コントローラが有効になりますが、USB ストレージデバイスは認識されません。
Video (ビデオ)	
Primary Video (プライマリビデオ)	コンピュータ上に 2 つのビデオコントローラが存在する場合、どちらがプライマリになるかを指定します。
Video Memory Size (ビデオメモリサイズ)	オンボードビデオコントローラ用に 8 MB (デフォルト) または 1 MB のシステムメモリを選択します。
Performance (パフォーマンス)	
HyperThreading (ハイパースレッディング)	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングをサポートしている場合、 Options List (オプションリスト) にこのオプションが表示されます。
SpeedStep (スピードステップ)	このフィールドでは、コンピュータでサポートされるすべてのプロセッサについて、Enhanced SpeedStep Technology を有効にするかどうかを指定します。
HDD Acoustic Mode (HDD アコースティックモード)	• Bypass — お使いのコンピュータは、現在のアコースティックモードの設定をテストまたは変更しません。 • Quiet (静粛) (デフォルト) — ハードドライブは最も静かな設定で動作します。 • Suggested (推奨) — ハードドライブは、ドライブ製造元が推奨する速度レベルで動作します。 • Performance (パフォーマンス) — ハードドライブは最大速度で動作します。 メモ: Performance (パフォーマンス) モードへ切り替えると、ドライブはより大きなノイズを発生する場合がありますが、動作に影響はありません。 メモ: アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。

Security (セキュリティ)	利用可能なシステムセキュリティオプションを表示します。
DEP (Execute Disable) (DEP (実行不可))	• Opt-In (デフォルト) — NX-対応プロセッサを搭載したコンピュータ上ではデフォルトで DEP が有効になっています。このオプションでは、Windows システムバイナリのみが DEP の対象となります。アプリケーションについては、アプリケーション互換シムを作成しアプリケーションとともにそのシムをインストールすることで、DEP 保護を有効にできます。 • Opt-Out — DEP はすべてのプロセスに対して有効です。ユーザーは、システムのプロパティで特定のアプリケーションについての例外を手動で作成できます。または、IT 担当者や ISV は Application Compatibility Toolkit を使用して opt-out 設定を行うことができます。 • Always On (常時オン) — 例外なく完全に DEP を適用します。 • Always Off (常時オフ) — ユーザーモードでの DEP の適用を行いません。ドライバおよび Windows コアカーネルバイナリは DEP の対象ですが、その他のバイナリは対象アプリケーションのセットに含まれません。
Unlock Setup (セットアップのアンロック)	このオプションで管理者パスワードを使用すると、セットアップオプションをアンロックできます。 メモ: このオプションは、管理者パスワードのオプションが有効になっている場合にのみ表示されます。
Admin Password (管理者パスワード)	コンピュータのセットアップユーティリティへのアクセスを制限できます。これは、System Password (システムパスワード) オプションでシステムへのアクセスを制限するのと同様のオプションです。 メモ: パスワードを削除するには、古いパスワードを入力して <Enter> を 2 回押します。
System Password (システムパスワード)	システムのパスワードセキュリティ機能の現在のステータスを表示し、新しいシステムパスワードの設定と検証を可能にします。
Password Status (パスワードのステータス)	セットアップパスワードを使用して、システムパスワードフィールドをロックします。フィールドをロックすると、コンピュータの起動時に <Ctrl><Enter> を押してもパスワードセキュリティを無効にできません。
Power Management (電力の管理)	
AC Recovery (AC リカバリ)	コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを設定します。
Auto Power On (自動電源オン)	コンピュータに自動的に電源を投入するよう設定します。選択可能なオプションは、every day (毎日) または毎週 Monday through Friday (月～金) です。 デフォルト設定は Off (オフ) です。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。

Auto Power Time (自動電源投入時刻)	コンピュータに自動的に電源を投入する時刻を設定します。 時刻は 24 時間形式 (時 : 分) で表示されます。左右の矢印キーを押して数値を増減するか、日付と時刻のフィールドの両方に数値を入力して、起動する時刻を変更します。 この機能は、電源タップやサージプロテクタでコンピュータをシャットダウンした場合は動作しません。
Low Power Mode (節電モード)	このモードは、電力を節約するときに使用します。
Suspend Mode (サスペンドモード)	選択可能なオプションは、 S1 (コンピュータが低電力モードで動作するサスペンド状態) と S3 (ほとんどのコンポーネントへの供給電力を抑制または停止するスタンバイ状態) です。ただし、システムメモリはアクティブなままです。
Maintenance (メンテナンス)	
Load Defaults (デフォルト設定のロード)	コンピュータの工場設定に戻します。
Event Log (イベントログ)	システムのイベントログを表示します。
POST Behavior (POST 動作)	
Fastboot (高速起動)	On (オン) (デフォルト) に設定すると、一部の設定とテストがスキップされるため、コンピュータが高速に起動します。
Numlock Key	このオプションは、キーボードの一番右にあるキーに関係します。 On (オン) (デフォルト) に設定すると、各キートップに表示されている数字と演算記号が有効になります。 Off (オフ) に設定すると、各キーの側面に表示されているカーソル制御機能が有効になります。
POST Hotkeys (POST ホットキー)	このオプションを使用すると、コンピュータの起動時に表示されるファンクションキーを指定できます。
Keyboard Errors (キーボードエラー)	このオプションを使用すると、コンピュータの起動時にキーボードエラーを報告するかどうかを指定できます。

Boot Sequence (起動順序)

この機能を使用すると、デバイスの起動順序を変更できます。

 **注意：** 起動順序の設定を変更したときは、新しい設定を保存しないと変更内容が失われます。

オプション設定

- **Diskette Drive (ディスクドライブ)** — コンピュータがフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはコンピュータにフロッピードライブが取り付けられていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive (ハードドライブ)** — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive (CD ドライブ)** — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。CD がドライブにない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **USB Flash Device (USB フラッシュデバイス)** — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上隅に **F12 = Boot Menu** と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB flash オプションを起動メニューに追加します。



メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。

現在の起動用の起動順序の変更

この機能は、フロッピードライブやメモリキーなどの USB デバイスからコンピュータを再起動するときなどに使用します。

- 1 USB デバイスから起動するときは、USB デバイスを USB コネクタに接続します (68 ページを参照してください)。
- 2 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
- 3 画面の右上隅に **F2 = Setup, F12 = Boot Menu** と表示されたら、<F12> を押します。

キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして、操作をやり直してください (59 ページを参照してください)。

使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した **Boot Device Menu (起動デバイスメニュー)** が表示されます。

- 4 デバイスを選択して <Enter> を押します。

たとえば、USB メモリキーから起動する場合は、**USB Flash Device (USB フラッシュデバイス)** をハイライト表示して <Enter> を押します。



メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。



メモ：起動順序は **System Setup Options (セットアップユーティリティオプション)** の **Boot Sequence (起動順序)** オプションでも変更できます (「109 ページ」を参照してください)。

将来の起動用の起動順序の変更

- 1 セットアップユーティリティを起動します（「108 ページ」を参照してください）。
- 2 矢印キーを押して **Boot Sequence（起動順序）** メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。



メモ：後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を控えておきます。

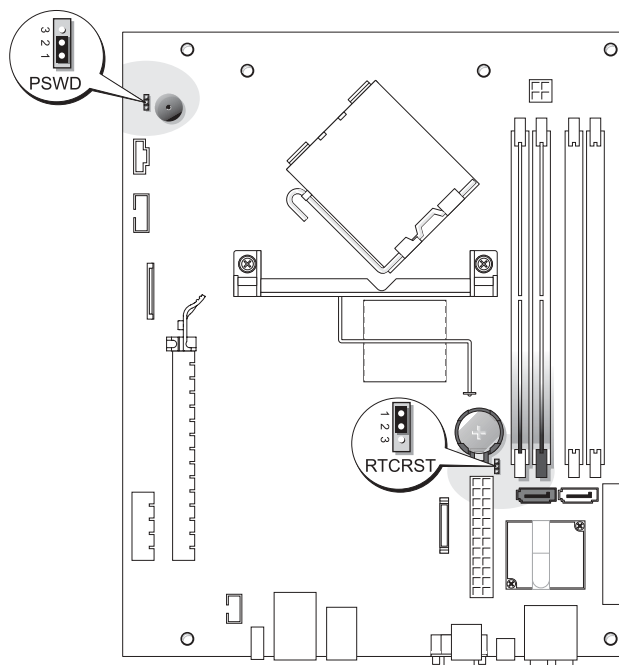
- 3 デバイスの一覧内を移動するには、上下矢印キーを押します。
- 4 デバイスを有効または無効にするには、スペースバーを押します（有効にしたデバイスにはチェックマークが付いています）。
- 5 選択したデバイスを一覧内で上下に移動するには、<U> キーまたは <D> キーを押します。

忘れたパスワードの取り消し



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 「59 ページの「再インストールする前に」」の手順に従います。



- 2 システム基板上にある 3 ピンパスワードジャンパ (PSWD) を見つけ、ジャンパプラグをピン 1 とピン 2 に取り付けて、パスワードをクリアします。



メモ：工場出荷時は、ジャンパプラグがピン 2 とピン 3 に取り付けられています。

- 3 コンピュータカバーを取り付けます (101 ページを参照してください)。
 - 4 コンピュータおよびモニタをコンセントに接続して、電源を入れます。
 - 5 Microsoft® Windows® デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンします (59 ページを参照してください)。
 - 6 モニタの電源を切ってコンセントから外します。
 - 7 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。
 - 8 コンピュータカバーを取り外します (65 ページを参照してください)。
 - 9 システム基板上にある 3 ピンパスワードジャンパ (PSWD) を見つけ (「114 ページ」を参照)、ジャンパプラグをピン 2 とピン 3 に取り付けて、パスワード機能を再度有効にします。
 - 10 コンピュータカバーを取り付けます (101 ページを参照してください)。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

CMOS 設定の取り消し



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

- 1 59 ページの「再インストールする前に」の手順に従います。
 - 2 最新の CMOS 設定にリセットします。
 - a システム基板上の 3 ピン CMOS ジャンパ (RTCRST) を見つけます (114 ページを参照してください)。
 - b ピン 1 とピン 2 からジャンパプラグを取り外します。
 - c ジャンパプラグをピン 2 とピン 3 に取り付けて、約 5 秒待ちます。
 - d ジャンパプラグをピン 1 とピン 2 に再度取り付けます。
 - 3 コンピュータカバーを取り付けます (101 ページを参照してください)。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 4 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

コンピュータのクリーニング



警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

コンピュータ、キーボード、およびモニタ



警告：コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- ブラシの付いた掃除機を使って、コンピュータのスロット部分や開口部、およびキーとキーボードの間から慎重にほこりを取り除きます。



注意：モニタ画面を石鹸またはアルコール溶液で拭かないでください。反射防止コーティングが損傷する恐れがあります。

- モニタ画面をクリーニングするには、水で軽く湿らせた柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの静電気防止コーティング用の溶液をお使いください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニタのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を3対1で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔なクリーニング布を使って拭きます。

クリーニング布を浸さないでください。またコンピュータやキーボードの内部に水が入らないようにしてください。

マウス

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合、マウスをクリーニングします。光学式でないマウスをクリーニングするには、次の手順を実行します。

- 1 マウスの底の保持リングを反時計回りに回して、ボールを取り外します。
- 2 清潔で糸くずのでない布でボールを拭きます。
- 3 ボールケースを軽く吹いて、ほこりや糸くずを取り除きます。
- 4 ボールケース内側のローラーに汚れが堆積している場合、イソプロピルアルコールを軽く含ませた綿棒で取り除きます。
- 5 ローラーが溝からずれてしまった場合、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- 6 ボールと保持リングを取り付けます。カチッと所定の位置に収まるまで、保持リングを時計回りに回します。

CD および DVD

- ➡ **注意：**CD / DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルの手順に従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合、ディスクを掃除してみます。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中央の穴の縁に触れることもできます。

- ➡ **注意：**円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。
- 2 糸くずのでない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）を中央から縁に向けて放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れには、水、または石鹸を薄めた水を使用します。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーニング製品は、DVD にも使用できます。

デルテクニカルサポートポリシー（米国内のみ）

サポート担当者によるテクニカルサポートでは、トラブルシューティングの過程で、お客様のご協力のご参加が不可欠です。このテクニカルサポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェアプログラム、ハードウェアドライバを出荷時のデフォルト設定に復元したり、ご使用のコンピュータや設置されているすべてのハードウェアが適切に機能しているかどうかを検証したりできます。サポート担当者によるテクニカルサポートだけでなく、**support.dell.com** でオンラインテクニカルサポートを利用することもできます。また、有料で利用できるテクニカルサポートオプションもあります。

デルでは、コンピュータおよび「Dell 製品にインストールされている」ソフトウェアや周辺機器に対して限定的なテクニカルサポートを提供しています¹。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に対するサポートは、製品の製造元によって提供されます。これらの製品には、Dell Software and Peripherals、Readyware、カスタムファクトリー統合を通じて購入、インストールされたソフトウェアや周辺機器も含まれます²。

¹ 修理サービスは、製品保証の契約条項およびコンピュータ購入に際して交わした任意のサポートサービス契約に従って提供されます。

² カスタムファクトリー統合（CFI）プロジェクトに含まれているすべてのデル標準コンポーネントは、お使いのコンピュータに適用されるデルの標準製品保証の対象となっています。一方で、デルでは、コンピュータのサービス契約期間中、部品交換プログラムを拡張し、CFI で組み込まれたすべての非標準サードパーティ製ハードウェアコンポーネントに対応します。

「Dell 製品にインストールされている」ソフトウェアと周辺機器の定義

Dell 製品にインストールされているソフトウェアとは、コンピュータの製造過程でインストールされるオペレーティングシステムやソフトウェアプログラム（Microsoft® Office、Norton Antivirus など）を指します。

Dell 製品に設置されている周辺機器には、内蔵拡張カードや Dell の名称がついたモジュールベイ、PC カードアクセサリが含まれます。また、Dell の名称がついたモニター、キーボード、マウス、スピーカー、電話モデム用のマイク、ドッキングステーションやポートリブリケータ、ネットワーク製品、およびすべての関連ケーブルも含まれます。

「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義

サードパーティ製ソフトウェアと周辺機器には、デルが販売し、かつ Dell の名称がついていない周辺機器、アクセサリ、ソフトウェアプログラムが含まれます（プリンタ、スキャナ、カメラ、ゲームなど）。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に対するサポートは、これらの製品の製造元によって提供されます。

FCC に関する注意事項（米国内のみ）

Dell コンピュータシステムのほとんどは、Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会、FCC）によってクラス B のデジタルデバイスに分類されています。お使いのコンピュータシステムがどのクラスに分類されているかを判断するには、コンピュータの底面、側面、背面パネル、カード取り付けブラケット、およびカード自体に貼付されているすべての FCC 登録ラベルを確認してください。その中のラベルに 1 つでもクラス A と表示されたものがあつた場合は、そのシステム全体がクラス A のデジタルデバイスとなります。すべてのラベルに FCC クラス B と表示され、FCC ID ナンバーまたは FCC ロゴ（**FC**）で識別されている場合、そのシステムはクラス B のデジタルデバイスとなります。

お使いのシステムの FCC 分類を確認できたら、該当する FCC に関する注意事項を一読してください。FCC 規定には、デルによる明示的な承認のない変更や修正によって、この装置に対する操作権限が取り消されることがあると定められています。

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は、次の 2 つの条件の対象になります。

- このデバイスが有害な電波障害を生じさせないこと。
- 好ましくない操作を引き起こす可能性のある電波障害を含め、このデバイスが受信した電波障害を受け入れること。

クラス A

この装置はテストの結果、FCC 規定の第 15 条に準拠したクラス A のデジタルデバイスに対する制限を満たすことが確認されています。これらの制限は、この装置が商用環境で使用された場合、有害な電波障害から適切に保護されるように設定されたものです。この装置は無線電波エネルギーを発生、使用、放射するので、製造元の解説マニュアルどおりにインストールされ、使用されていない場合は、無線通信に対して有害な電波障害を発生させてしまう可能性があります。この装置を住宅地域において操作すると、有害な電波障害が発生する可能性があります。その場合には自身の責任のもとその電波障害を解決する必要があります。

クラス B

この装置はテストの結果、FCC 規定の第 15 条に準拠したクラス B のデジタルデバイスに対する制限を満たすことが確認されています。これらの制限は、この装置が住宅地域に設置された場合、有害な電波障害から適切に保護されるように設定されたものです。この装置は無線電波エネルギーを発生、使用、放射するので、製造元の解説マニュアルどおりにインストールされ、使用されていない場合は、無線通信に対して電波障害を発生させてしまう可能性があります。ただし、正しくインストールが行われていれば電波障害が発生しないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信に電波障害を引き起こすかどうかはその装置の電源をオンまたはオフにすることによって判定できますので、以下の方法を 1 つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 装置と受信機を離れた位置に置く。
- 装置の電源プラグを、受信機が接続している電気回路とは別の回路のコンセントに差し込む。
- 販売代理店または熟練したラジオ・テレビ技術者に相談する。

FCC ID 情報

次の情報は、このマニュアルで扱っているデバイスに対して、FCC 規定に従って提供されるものです。

- モデル番号：DHP

会社名：

Dell Inc.
One Dell Way
Round Rock, Texas 78682 USA
512-338-4400

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com**
- **support.dell.com**（テクニカルサポート）
- 注意：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、以下の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。

メモ：フリーコール番号は、その番号が記載されている国でのみ使用できます。

デルへお問い合わせになるときは、各国のデルの電話番号、E メールアドレスをまとめた次の表を参照してください。どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（都市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名またはサービスエリア、 Web サイトおよび E メールアドレス	市外局番 市内番号、および フリーコール
Japan（川崎） 国際電話アクセスコード： 001 Country Code: 81 City Code: 44	ウェブサイト： support.jp.dell.com テクニカルサポート (Dimension™、Inspiron™) テクニカルサポート（海外から） (Dimension / Inspiron) ファックス情報サービス 24 時間納期案内電話サービス カスタマケア ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満） 法人営業本部（従業員数 400 人以上） エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上) 官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス デルグローバルジャパン 個人のお客様 代表	 フリーコール：0120-198-226 81-44-520-1435 044-556-3490 044-556-3801 044-556-4240 044-556-1465 044-556-3433 044-556-3430 044-556-1469 044-556-3469 044-556-1760 044-556-4300

索引

B

BIOS, 107

C

CD

コピー, 22
再生, 20

CD および DVD の
コピー, 22

CD/DVD ドライブ
問題, 30

CD/DVD-RW ドライブ
問題, 31

CMOS 設定
取り消し, 115

D

Dell Premier サポート
ウェブサイト, 10

DVD

コピー, 22
再生, 20

DVD ドライブ
問題, 30

I

IEEE 1394
問題, 34

M

Microsoft Windows
ラベル, 10

P

PC Restore, 55

PCI Express カード
取り付け, 74
取り外し, 77

S

SATA。「シリアル ATA」を
参照してください。

T

TV

コンピュータへの接続, 16

U

USB
デバイスからの起動, 113

W

Windows XP
システムの復元, 55
スキャナー, 42
デバイスドライバの
ロールバック, 54

Windows XP (続き)

ネットワークセットアップ
ウィザード, 18
ハードウェアに関するトラ
ブルシューティング, 55
ハイパース
レッディング, 28
復元, 55
プログラム互換性
ウィザード, 36
ヘルプと
サポートセンター, 11

あ

安全にお使いいただく
ために, 9

い

インターネット
接続、オプション, 18
接続、セットアップ, 19
接続、説明, 18
問題, 31

う

ウィザード
ネットワークセットアップ
ウィザード, 18
プログラム互換性
ウィザード, 36

え

エラーメッセージ
診断ライト, 47

エンドユーザーライセンス
契約, 9

お

オーディオ。「サウンド」
参照。

オペレーティングシステム
復元, 55

音量
調整, 43

か

カード
PCI Express, 73
サポートされる種類, 73
スロット, 73
取り付け, 74
取り外し, 77

快適な使い方, 9

カバー
閉じる, 101
開く, 65

画面。「モニタ」参照。

き

キーボード
問題, 35

起動
USB デバイス, 113

起動順序, 112
オプション設定, 113
変更, 113, 114

休止状態モード, 25, 27

こ

コンピュータ
以前の動作状態の復元, 55
クリーニング, 116
内部, 67
破損, 35, 36, 37
反応が停止した場合, 35, 36

さ

サービスタグ, 10

再生
CD, 20
DVD, 20

サウンド
音量, 43
問題, 43

サポート
デルへの
お問い合わせ, 118, 120
ポリシー, 117

し

システム基板, 68
システムの復元, 55

仕様
オーディオ, 104
拡張バス, 104
環境, 107
技術, 103
コネクタ, 105
コンピュータ情報, 103
サイズと重量, 107
電源, 106
ドライブ, 104
ビデオ, 104
プロセッサ, 103
ボタンとライト, 106
メモリ, 103

シリアル ATA, 80

診断
デル, 51
ライト, 47

診断ライト, 47

す

スキャナー
問題, 42
スタンバイモード, 25

スピーカー
音量, 43
問題, 43

せ

製品情報ガイド, 9

設定

セットアップ
ユーティリティ, 107

セットアップ図, 9

セットアップユーティリティ
オプション, 109
画面, 108
起動, 108

そ

ソフトウェア
ハイパース
レッディング, 28
問題, 36, 37

ち

チェックディスク, 31

て

テクニカルサポート
ポリシー, 117

ディスプレイ。「モニタ」
参照。

デル

Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 51
お問い合わせ, 118, 120
サポートサイト, 10
サポートポリシー, 117

電源

オプション, 26
オプション、休止状態, 27
オプション、詳細設定, 27
オプション、スキーム, 26
管理, 25
休止状態モード, 25, 27
スタンバイモード, 25
節約, 25
問題, 40

電源ライト
状態, 40

電子メール
問題, 31

と

トラブルシューティング
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 51
以前の動作状態の復元, 55
診断ライト, 47
ハードウェアに関するトラ
ブルシューティング, 55
ヒント, 29
ヘルプと
サポートセンター, 11

ドライバ
確認, 53
説明, 53

ドライブ
シリアル ATA, 80
ハードドライブ, 80
ハードドライブの
取り付け, 82
ハードドライブの
取り外し, 80

ドライブ (続き)

フロッピーの取り付け, 95
フロッピーの取り外し, 92
問題, 30

に

認可機関の情報, 9

ね

ネットワーク
セットアップ, 17
ネットワークセットアップ
ウィザード, 18
問題, 39

ネットワークセットアップ
ウィザード, 18

は

ハードウェア
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 51
ハードウェアに関するトラ
ブルシューティング, 55
ハードドライブ
取り付け, 82
取り外し, 80
問題, 31
ハイパースレッディング, 28
バッテリー
交換, 99
問題, 29
パスワード
ジャンパ, 114
取り消し, 114

ひ

ビデオ
問題, 44

ふ

復元
Windows XP, 55

フロッピードライブ
取り付け, 95
取り外し, 92

部品の取り付け
コンピュータの
電源切断, 59
作業を開始する前に, 59
推奨ツール, 59

プリンタ
USB, 14
ケーブル, 13
セットアップ, 13
接続, 13
問題, 41

プログラム互換性
ウィザード, 36

へ

ヘルプと
サポートセンター, 11

ほ

保証に関する情報, 9

ま

マウス
問題, 38

マザーボード。
「システム基板」参照。

マニュアル
安全, 9
エンドユーザーライセンス
契約, 9
オンライン, 10
快適な, 9
規制, 9
製品情報ガイド, 9
セットアップ図, 9
品質保証, 9

め

メッセージ
エラー, 33

メディアカードリーダー
使い方, 15
取り付け, 90
取り外し, 89
問題, 34

メモリ

4 GB 構成, 70
DDR2 の概要, 69
サポートされる種類, 69
取り付け, 71
取り付けガイドライン, 69
取り外し, 72
問題, 38

も

モデム
追加, 97
問題, 31

モニタ
TV の接続, 16
拡張デスクトップ
モード, 16
画面設定, 16
クローンモード, 16
何も表示されない場合, 44
見づらい場合, 45
問題, 44

問題
CD ドライブ, 30
CD/DVD-RW ドライブ, 31
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 51
DVD ドライブ, 30
IEEE 1394, 34
青一色の画面, 37
以前の動作状態の復元, 55
一般的な注意, 35
インターネット, 31
エラーメッセージ, 33
音量の調整, 43
画面が見づらい場合, 45
画面に何も表示されない
場合, 44
キーボード, 35
コンピュータが破損した
場合, 35, 36, 37
コンピュータの反応が
停止した場合, 35, 36
サウンドとスピーカー, 43
診断ライト, 47
スキャナー, 42
ソフトウェア, 36, 37

問題（続き）

テクニカルサポート

ポリシー, 117

電源, 40

電源ライトの状態, 40

電子メール, 31

トラブルシューティングの

ヒント, 29

ドライブ, 30

ネットワーク, 39

ハードドライブ, 31

バッテリー, 29

ビデオとモニタ, 44

プリンタ, 41

プログラムが壊れる

場合, 36

プログラムと Windows の

互換性, 36

プログラムの反応が

停止した場合, 36

マウス, 38

メディアカード

リーダー, 34

メモリ, 38

モデム, 31

モニタが見つからない場合, 45

モニタに何も表示されない

場合, 44

ら

ライト

コンピュータの背面, 47

診断, 47

ラベル

Microsoft Windows, 10

サービスタグ, 10

